

ELECOM

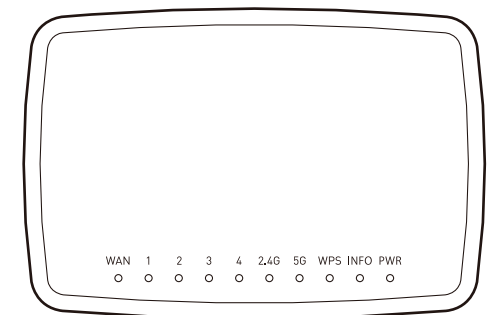
Wireless Broadband Router

無線LANブロードバンドルーター

WRC-300FEBK-A / WRC-733FEBK-A

User's Manual

導入時の基本的な手順は、製品に付属する
「かんたんセットアップガイド」等をお読み
ください。



エレコム株式会社

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線LANブロードバンドルーター「WRC-300FEBK-A/WRC-733FEBK-A」を称して「本製品」と表記しています。
11ac/11a/11n/11g/11b	IEEE802.11ac規格を「11ac」、IEEE802.11n (2.4G/5G)規格を「11n」、IEEE802.11a規格を「11a」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
11bgn	11n (2.4GHz帯) /11g/11bの略です。
11an/ac	11a/11n (5GHz帯) /11acの略です。
無線LANルーター	無線LANブロードバンドルーターを略して「無線LANルーター」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線LANルーター、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線LAN子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線LAN子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線LAN子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプターを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきます。

ELECOM

無線LANブロードバンドルーター

WRC-300FEBK-A WRC-733FEBK-A

User's Manual ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、エレコムの無線LANルーターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定をおこなう場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

本製品の基本的な導入手順については、付属の印刷物による各種説明書をお読みください。

安全にお使いいただくために

本マニュアルでは製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

	丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。



警告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちにパソコンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



製品には、ACアダプターまたは電源コードが同梱されています。

製品に同梱されているACアダプターまたは電源コードは、他の電子機器では使用しないでください。仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

ACアダプターまたは電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプターまたは電源コードを大切に。

ACアダプターまたは電源コードのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電／火災の原因となります。



36～64chは、屋外で使用しないでください。

電波法により、W52、W53は屋外の使用が禁止されています。



注 意

-  ACアダプターまたは電源コードのコードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本もの延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。
-  ACアダプターまたは電源コードのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
-  通気孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。
-  高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
-  本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
-  ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

- 無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
 - 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用する事
- これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
 - 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために 4

Chapter 1 導入編 9

1 製品の保証について 10
2 サポートサービスについて 11
3 このマニュアルをお読みになる前に 12
4 本製品の概要について 14
 本製品の特長 14
 本製品の動作環境 16
5 各部の名称とはたらき 17
6 設定ユーティリティについて 19
 SkyLink Manager 19
 設定ユーティリティ (詳細設定) 20
7 作業をおこなう前に 21
 接続事業者との契約状況を確認する 21
 終端装置のタイプについて 22
 設定に必要なプロバイダー情報を用意する 22

Chapter 2 接続編 25

1 セットアップの流れ 26
2 本製品を設置する 28
 接続の準備をする 28
 本製品を接続する 30
3 SkyLink Managerを使ったセットアップ 32
 スマートフォン/タブレットからの設定方法 (Android 編) 32
 スマートフォン/タブレットからの設定方法 (iOS 編) 48
 PCからの設定方法 (Windows 編) 66
4 本製品に無線LANで接続する 78
 はじめにご確認ください 78
 WPS ボタンを使って接続する 79
 PIN コードを入力して接続する 81
 手動設定で設定する 82

Chapter 3 SkyLink Manager編 83

1 ルーターの起動モード選択画面について 84
 ルーターの起動モード選択画面を表示する 84
2 SkyLink Manager ホーム画面について 85
 SkyLink Manager ホーム画面を表示する 85
 SkyLink Manager ホーム画面の内容 86
3 こどもネットタイマー2 87
 こどもネットタイマー2 でできること 87
 こどもネットタイマー2 の設定方法 88
 機器一覧 画面 95
 おすすめ設定 画面 97
 WEB サイトフィルタ設定 画面 99
4 Wi-Fi 簡単プロファイル設定 102

Wi-Fi 簡単プロファイル設定の設定方法 102
5 設定ユーティリティ (詳細設定) について 107
 設定ユーティリティ (詳細設定) を表示する 107

Chapter 4 詳細設定編 109

1 設定ユーティリティ画面について 110
 設定ユーティリティ画面を表示する 110
 設定ユーティリティ画面の内容 112
2 モード変更 113
3 無線設定 115
 無線設定 115
 基本設定 (2.4GHz 帯 [11n/g/b] の場合) 116
 基本設定 (5GHz 帯 [11ac/11an] の場合) 117
 暗号化設定 118
 WPS 設定 125
 マルチ SSID 126
 無線出力設定 127
4 WAN&LAN 設定 128
 LAN 設定 画面 128
 固定 DHCP 設定 画面 129
 WAN 設定 画面 131
 DDNS 画面 134
5 LED 省電力機能の設定 136
6 ファイアウォールの設定 137
 アクセスコントロール 画面 137
 ポートフォワーディング 画面 139
 URL フィルタリング設定 画面 141
 DMZ 設定 画面 142
 QoS 画面 144
7 システム設定 146
 ステータス 画面 147
 ファームウェア更新 画面 147
 設定保存と読み込み画面 153
 パスワード設定 画面 155

Appendix 付録編 157

1 子機モード (コンバーターモード) を使う 158
 子機モードに変更する 158
 有線ネットワーク機器と接続する 161
2 中継器モード (リピーターモード) を使う 162
 中継器モードに変更する 162
3 AP モード (アクセスポイントモード) を使う 166
4 こんなときは 170
7 パソコンの IP アドレスの確認方法 173
 パソコンの IP アドレスを表示する 173
 工場出荷時での表示結果 176
8 基本仕様 177

Chapter 1

導入編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

販売店発行のレシートまたは保証シールに記載されている購入日より1年間、本製品を本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については個装箱に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、個装箱に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

P11「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。



エレコム・ネットワークサポート(ナビダイヤル)

TEL : 0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00（祝日営業）

※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。
 This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

ネットワークサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
 - ・インターネットに関するプロバイダ契約の書類
 - ・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「かんたんセットアップガイド」「製品情報」「補足編」の3つのマニュアルが付属しています。各マニュアルには、以下の内容が記載されています。該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

●「かんたんセットアップガイド」のおもな内容

- ・本製品をインターネット機器(終端装置)に接続する手順。
- ・スマートフォン/タブレット(AndroidまたはiOS)から、無料アプリを使って本製品およびインターネットへ接続する方法。
- ・付属のセットアップCDを使ってWindowsパソコンから本製品およびインターネットへ接続する方法。

●「製品情報」のおもな内容

- ・本製品の各部の名称とはたらき。
- ・本製品の基本情報。
- ・工場出荷時における設定値および基本仕様。
- ・注意事項。
- ・FAQ(困ったときにお読みください)。

●「補足編」のおもな内容

- ・こどもネットタイマー2機能の設定方法。
- ・Wi-Fiゲーム機から本製品への接続方法。
- ・本製品を活用するためのヒント。
- ・サポートサービスのご案内。

※マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合

エレコム・ホームページのサポートページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

●ユーザーズマニュアルの内容について

ユーザーズマニュアルは、基本的に印刷物のマニュアルに記載されていない内容について説明しています。詳しくは「もくじ」および内容をご覧ください。

- ・スマートフォン/タブレット(AndroidまたはiOS)やパソコンからスカイリンクセットアップを使用してインターネットへ接続する方法。
- ・無線LAN子機から本製品へ接続するための設定手順(WPS、PINコード、手動設定)。
- ・Web版の設定ユーティリティに搭載された機能の詳細な説明。

4 本製品の概要について

本製品の特長

●最新技術「11ac (IEEE802.11ac)」に対応(WRC-733FEBK-Aのみ)

次世代の無線LAN規格「IEEE802.11ac規格」に対応し、最大433Mbps(理論値)の無線通信を実現します。IEEE802.11aや11n(5G)と同じ電波干渉の少ない5GHz帯を使用するため、電波干渉の影響を受けやすい11n/b/g(2.4GHz帯)に比べて、場所を選ばず高速通信が可能になります。

●11n/g/bで同時接続が可能(WRC-733FEBK-Aのみ)

11n/aおよび11n/g/b規格にも準拠しますので、11ac規格に非対応のスマートフォン、ゲーム機などは、11n/aや11n/g/bで接続して楽しむことができます。パソコンを中心に11ac規格が広まることが予想されますので、11ac規格の無線LAN子機がない場合でも、将来を見据えて気軽に導入できます。

●設定ツールでスマートフォン/Windowsパソコンからのインターネット接続がさらに簡単

Google play/App Storeからダウンロード又は付属セットアップCDに含まれる「SkyLink Manager」を使用することで、Windowsパソコンからのインターネット接続設定が簡単にできます。PPPoE接続、DHCP接続、固定IP接続という標準的なインターネット接続回線の種別を自動判別し、適切な接続方法が自動的に設定される「おまかせ接続」です。回線をあらかじめ調べて、手動で選択する必要がありません。

●ボタンひとつで設定完了、WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用

面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。本製品上面(縦置き時)のWPSボタンまたは設定ユーティリティ画面上のWPSボタンを押すことで、セキュリティ設定を含めた無線LAN接続を簡単に完了できます。

●お子様のインターネット接続を制限できる「こどもネットタイマー2」機能搭載

WEBサイトフィルターで有害サイトからお子様を守り、Wi-Fiゲーム機やスマートフォン、パソコンなどからインターネットへ接続する時間を1日単位で制限することができます。タイマーとスケジュールを同時設定ができますので、お子様のインターネット利用を安心して管理することができます。設定は無線端末ごとに可能で、たいへん便利です。

●“イカロスモバイルセキュリティ for Android”1年間ライセンスが付属

セキュリティアプリ“イカロスモバイルセキュリティ for Android”1年間無料シリアルキーを添付し、1台まで登録可能です。スマートフォンなどのAndroid端末をウイルスから保護したり、紛失・盗難時の情報漏えいを防止することができます。※iOS搭載機器は対象外です。

●子機モード(コンバーターモード)と中継器モード(リピーターモード)を搭載

本製品を接続することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができる「子機モード(コンバーターモード)」と、本製品を中継器として使用することで、電波の届きにくい場所でも無線電波を中継して通信範囲をより広く使用することができる「中継器モード(リピーターモード)」を搭載しています。

●LEDランプを消灯できる「LED省電力モード」を搭載

本製品の消費電力を抑える「LED省電力モード」を搭載しました。省電力機能を「有効」にすると、PWR・INFOランプ以外のランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

●Webブラウザベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンのWebブラウザ上から、本体に内蔵されたWebベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Webブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。インターネット経由でのアクセスも可能です。

●IPv6 Bridge機能を搭載

さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめるIPv6サービスを利用できるように、「IPv6 Bridge」機能を搭載しています。設定をオフにすることもできます。

●各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格であるWPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信するSSIDを無線クライアント側で表示されないようにするSSIDステルス機能、無線クライアントのMACアドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。また、有害なWebサイトへのアクセスを制限するURLブロック機能などを備えています。

●特定の通信の帯域幅を確保できる「QoS」機能に対応

全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能に対応しています。この機能を使うことで、ストリーミング映像を楽しんでいるときに、他のサービスに帯域を取られて、映像が止まるというような心配がなくなります。複数のサービスに個別に帯域幅を割り当てることができます。

●バーチャルサーバー機能を搭載

ポート転送（ポートフォワーディング機能）を搭載しており、本製品に接続したパソコンを「バーチャルサーバー」としてインターネット経由で安全に公開できます。PPPoE 接続など、IP アドレスが動的に変化する環境でも、ダイナミック DNS（クリアネット）サーバーへの接続機能を備えていますので、IP アドレスの変更なく運用が可能です。

●UPnPに対応

UPnP（Universal Plug and Play）に対応しています。Windows Messenger などの UPnP 対応ソフトが特別な設定をせずにご利用可能なほか、UPnP 対応ネットワーク機器との組み合わせで本製品を自動的に認識、設定できます。ネットワークゲームを安心して利用できる DMZ 機能も備えています。

●その他、豊富な機能を搭載

- ・接続する無線 LAN 規格を選択可能
- ・NTP（Network Time Protocol）サーバーを自動検出して時刻を自動設定
- ・最新のファームウェアに自動アップデート可能

本製品の動作環境

ルーター機能については、TCP/IP プロトコルを利用できる OS であれば使用できます。ただし、弊社では次の環境のみサポートしています。

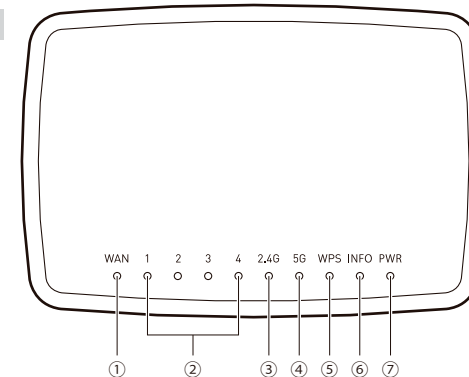
また、Web ベースの設定ユーティリティを採用していますので、本製品の設定には Web ブラウザが必要になります。

対応機種および OS	Windows 8.1/8/7/Vista/XP (SP3～) を搭載する Windows マシン Mac OS X (10.10/10.9/10.8/10.7/10.6/10.5/10.4) をインストールした Intel 製 CPU を搭載した Mac
Web ブラウザ	Internet Explorer 5.5 以降、Safari 6.0.3 以降
かんたんセットアップ CD	Windows 8.1/8/7/Vista/XP (SP3～) を搭載する Windows マシン

5

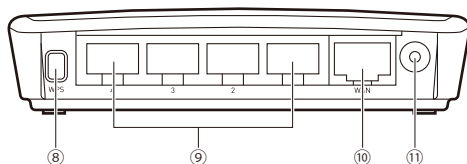
各部の名称とはたらき

上面

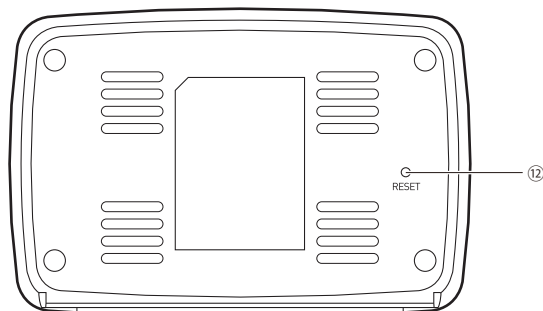


番号	名称	はたらき
①	WAN ランプ (青色)	点灯：WAN 側機器とのリンクが確立しています。 消灯：ケーブル未接続の状態です。
②	LAN ランプ (青色)	点灯：有線 LAN 接続のパソコンやネットワーク機器とリンクが確立しています。 消灯：ケーブル未接続の状態です。
③	2.4G WLAN ランプ (青色)	2.4GHz 帯 (11n/g/b) および 5GHz 帯 (11ac/n/a) の接続状況を表示します。 ※ WRC-300FEBK-A は、2.4GHz 帯 (11n/g/b) 専用です。「5G WLAN ランプ」はありません。
④	5G WLAN ランプ (青色)	点灯：該当する帯域が利用可能です。 点滅：該当する帯域が利用可能です。 消灯：該当する帯域が無効です。
⑤	WPS ランプ (赤色)	点滅：WPS 設定ボタンを押して WPS 機能を実行している状態です。 約 2 分間、0.5 秒間隔で点滅します。 消灯：WPS 機能を実行していない状態です。
⑥	INFO (お知らせ) ランプ (赤色)	点滅：アップデート可能なファームウェアがサーバー上にあります (ファームウェアのアップデート通知機能が有効な場合のみ)。またアップデート作業中や初期化中も点滅します。 ※ AP モードご使用時は、このランプは消灯したままになります。
⑦	PWR (パワー) ランプ (青色)	点灯：本製品の電源が入った状態です。 消灯：本製品の電源が切れた状態です。

背面



底面



番号	名称	はたらき
⑧	WPS 設定ボタン	WPS 機能搭載の無線子機（スマートフォン、無線アダプターなど）と接続するときに使用します。ご利用の際は WPS ランプが約 5 秒間押ししてください。 ※本ボタンはルーターのセットアップ時にも利用します。ご利用方法については別紙「かんたんセットアップガイド」をご確認ください。
⑨	LAN ポート	パソコンやネットワーク機器を、有線 LAN で本製品に接続するためのポートです。
⑩	WAN ポート	各種モデム（ONU、CTU など）の WAN（インターネット）側機器からのケーブルを接続します。
⑪	DC IN（電源ジャック）	本製品に付属の AC アダプターを接続します。本製品に付属以外の AC アダプターを接続しないようにしてください。
⑫	RESET ボタン	このボタンを 10 秒以上押した後に離すと、WPS ランプが点滅し、本製品の設定値が初期化されます（工場出荷時の状態に戻ります）。WPS ランプ点滅中は、電源を切らないでください。

6 設定ユーティリティについて

本製品の各種機能を設定するには、スマートフォン・タブレットやパソコンから「SkyLink Manager」を使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは設定ユーティリティの[ホーム]に表示されるボタンの内容を説明します。各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

MEMO

設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをスマートフォン・タブレットやパソコンで表示するには、「SkyLink Manager」を使って、本製品とインターネットとの接続を完了している必要があります。

設定ユーティリティの表示方法

P107「設定ユーティリティ（詳細設定）を表示する」をお読みください。

SkyLink Manager

SkyLink Manager ホーム画面にある各画面の概要を説明します



メニュー項目	内容
スカイリンクセットアップ	簡単設定、クラシック設定を使用してインターネット初期設定を行うことができる「スカイリンクセットアップ」を選択するためのメニューです（→P32）。
こどもネットタイマー2	WEB サイトフィルタで有害サイトからお子様を守り、Wi-Fi ゲーム機やスマートフォン、パソコンなどからインターネットへ接続する時間を 1 日単位で制限することができます。タイマーとスケジュールを同時設定ができますので、お客様のインターネット利用を安心して管理することができるメニューです。（→P87）
Wi-Fi 簡単プロフィール設定	プロフィールを端末へインストールし、ルーターへの接続を簡単に行うことができるメニューです。（→P102）
詳細設定	本製品の詳細な設定を行うためのメニューです。モード変更（→P113）、無線設定（→P115）、WAN&LAN 設定（→P128）、こどもネットタイマー2（→P87）などがあります。

設定ユーティリティ(詳細設定)

設定ユーティリティにある各画面の概要を説明します



メニュー項目	内容
モード変更	ルーター/APモードのほか、本製品を子機として使用することができる「子機モード(コンバーターモード)」中継器として使用することができる「中継器モード(リピーターモード)」を選択するための画面です(→P162)。
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。2.4GHz帯と5GHz帯のそれぞれに基本設定(→P116・P117)、暗号化設定(→P118)、WPS設定(→P125)、があります。
WAN & LAN 設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN設定(→P128)、WAN設定(→P131)があります。
こどもネットタイマー2	WEBサイトフィルターで有害サイトからお子様を守り、Wi-Fiゲーム機やスマートフォン、パソコンなどからインターネットへ接続する時間を1日単位で制限することができます。タイマーとスケジュールを同時設定ができますので、お子様のインターネット利用を安心して管理することができます(→P94)。
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。(→P136)
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。アクセスコントロール(→P137)、ポートフォワーディング(→P139)、URLフィルタリング(→P141)、DMZ(→P142)があります。
QoS 設定	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます(→P144)。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P146)、ファームウェア更新(→P147)、設定保存と読込(→P153)、パスワード設定(→P155)があります。

7 作業をおこなう前に

本製品と機器の配線作業をおこなう前に、以下について確認します。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。すでにルーターを使わずにインターネットに接続できている場合は、①～③についての確認の必要はありません。

①回線事業者/プロバイダーと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダーとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスなどNTT西日本およびNTT東日本のサービスについては、別途プロバイダーとの契約が必要です。

②終端装置は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、ADSLなどの終端装置と本製品を接続する必要があります。終端装置を別途購入されるように契約している場合は、対応する終端装置をご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者/プロバイダーとの契約に加え、屋内までの配線工事と終端装置の準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、有線または無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに内蔵されていない場合は、別途LANアダプターや無線LAN子機を準備してください。

また、無線で接続する場合は、IEEE802.11ac/11a/11n/11g/11bいずれかの無線LAN機能が搭載されている必要があります(WRC-300FEBK-Aの場合は、IEEE802.11n/g/b)。パソコン本体などに無線LAN機能が内蔵されていない場合は、別途無線LAN子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。無線LAN子機から本製品への接続には、本製品に設定したSSIDおよび暗号キーが必要になります。

終端装置のタイプについて

本製品は、ルーター機能に無線LAN機能を搭載した無線LANルーターです。現在、プロバイダーから提供される終端装置には、すでにルーター機能が内蔵されている製品があります。本製品専用アプリ内のウィザード機能「スカイリンクセットアップ」を使用することで、適切な状態でインターネットに接続することができます。

設定に必要なプロバイダー情報を用意する

スカイリンクセットアップは、ご使用になるインターネット回線の種別を自動的に判別しますので、一般的なインターネットサービスをご使用の場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要はありません。

ただし、NTTフレッツサービスなどPPPoE接続を使用している場合は、プロバイダーから提供されるユーザーIDとパスワードが必要になることがあります。また、固定IPサービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。

MEMO

APモードでご利用の場合

終端装置に搭載されたルーター機能を使用しているため、本製品をAP（アクセスポイント）モードで利用する場合は、P78「4. 本製品に無線LANで接続する」をお読みください。

プロバイダーの情報について

ご契約のプロバイダーによっては、ここに説明した内容と異なる場合もあります。プロバイダー側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定をしてください。

A PPPoE接続方式の場合

NTTフレッツサービスのうち「PPPoE接続」でインターネットに接続するプロバイダーの場合は、ユーザーIDとパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずです。記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
認証ID（ユーザー名）【接続ID】	
認証パスワード【接続パスワード】	

※プロバイダーによって認証ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザーIDに「@」が入っている場合は、プロバイダーから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダー識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE接続でも、認証ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が必要な場合があります。

MEMO

フレッツ光プレミアムなど、別途ルーター機能が用意されている場合

プロバイダーから提供されている終端装置に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

B DHCP接続方式の場合

DHCP接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。スカイリンクセットアップを使用すれば、インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C 固定IPアドレスの場合

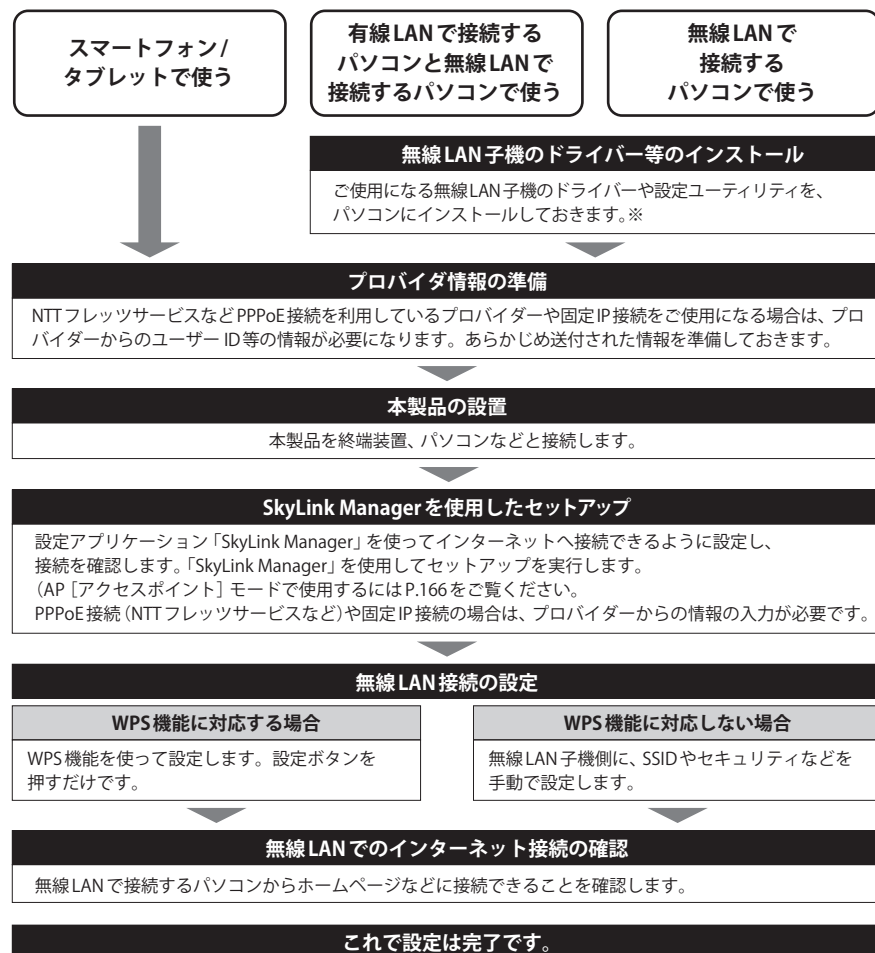
インターネット側のIPアドレス（グローバルIPアドレス）が固定で割り当てられるサービスです。あらかじめお手元にIPアドレス等の情報が書かれた資料をご用意ください。

Chapter 2

接続編

1 セットアップの流れ

ユーザーズマニュアルの説明を利用する場合のセットアップの流れです。



有線 LAN で接続するパソコンだけで使う

プロバイダ情報の準備

NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を利用しているプロバイダや固定 IP 接続をご使用になる場合は、プロ
バイダからのユーザー ID 等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。

本製品の設置

本製品を終端装置、パソコンなどと接続します。
◆無線 LAN で接続するパソコンしか使用しない場合でも、確実にインターネットの接続設定をするために、設定時は有線 LAN で
パソコンを接続することをお勧めします。

SkyLink Manager を使用したセットアップ

接続設定アプリケーション「SkyLink Manager」を使ってインターネットへ接続できるように設定し、接続を
確認します。「SkyLink Manager」を使用してセットアップを実行します。
PPPoE 接続 (NTT フレッツサービスなど) や固定 IP 接続の場合は、プロバイダからの情報の入力が必要です。

これで設定は完了です。

※無線 LAN 子機側の設定については、無線 LAN 子機の説明書をお読みください。

2 本製品を設置する

本製品をブロードバンドモデムなどの終端装置と接続します。

接続の準備をする

1 作業の前に確認します。

□ Check 1

●インターネットサービスの契約が完了し、サービスが開始されていることを確認します。

●プロバイダーからの書類を用意します。

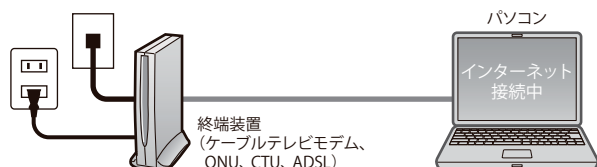
- ご利用のインターネットサービスによっては、ユーザーIDとパスワード(※)を設定する必要があります。あらかじめ、プロバイダーから提供された書類に、これらの記述がないかご確認のうえ、ご用意ください。

※プロバイダーにより、認証ID/ユーザー名、認証パスワード/アクセスキーなど、名称が異なります。

□ Check 2

すでに終端装置とパソコンが接続されている場合

すでにルーターを使わずにインターネットに接続している場合は、現在の環境でパソコンからインターネットに接続できているか確認します。



□ Check 3

すでに使用中の有線/無線ルーターから「お乗り換え」の場合の確認事項です。

- ご使用中のルーターの設定プログラム(アプリケーション)は、すべて削除します。
- ルーターをご使用でない場合でも、すでにインターネットをご利用の場合、パソコンに「接続ツール」等のプログラムがインストールされている場合があります。これらはすべて削除してください。

※ご不明な点がある場合は、お手持ちのルーターのメーカーにお問い合わせください。

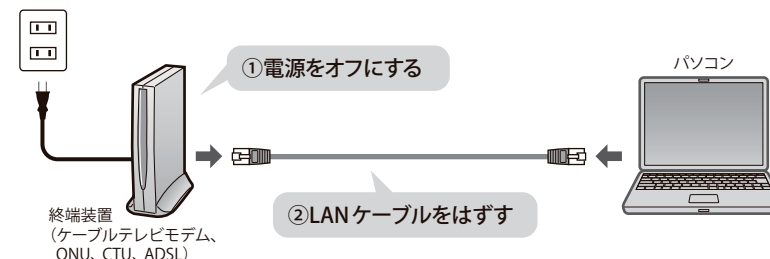
2 作業の前にご利用中の回線をいったんオフにします。

① 終端装置(ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、ADSL)の電源を切ります。

② パソコンと終端装置を接続したLANケーブルを外します。

- ケーブルテレビモデムの場合、そのまま10分以上おいてください。

※ご契約の回線によっては、1時間以上おいておく必要があります。

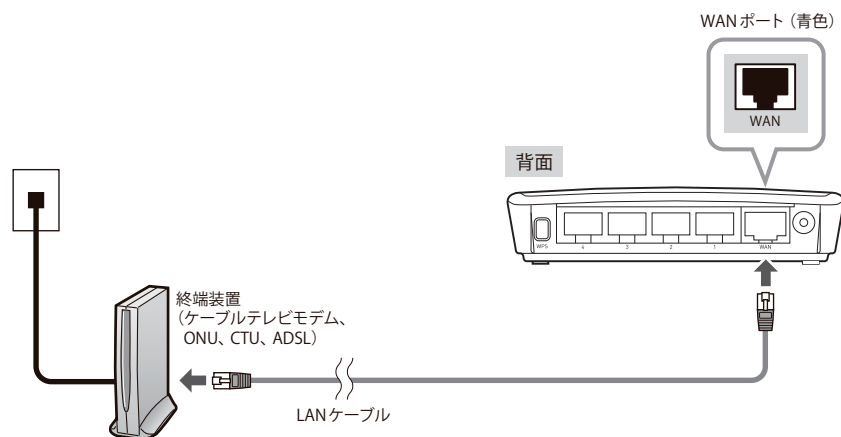


終端装置の電源をいったん切らないと、現在記憶されている接続情報がそのまま残り、本製品を接続したあとの新しい接続情報に更新されず、インターネットへの接続に失敗する恐れがあります。

本製品を接続する

1 機器を接続します。

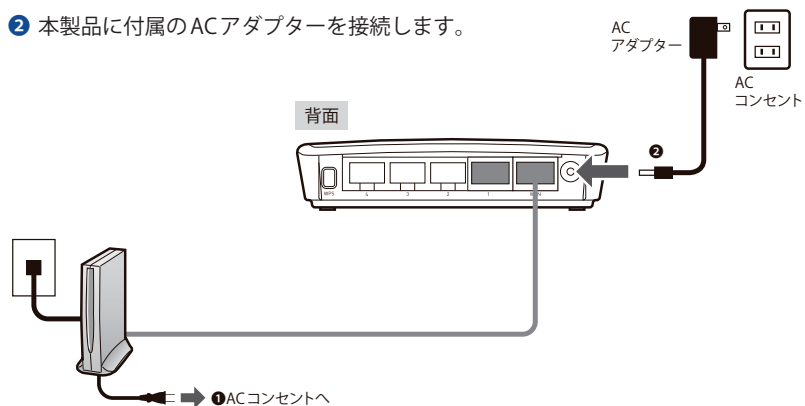
- イラストを参考に、各機器を配線します。



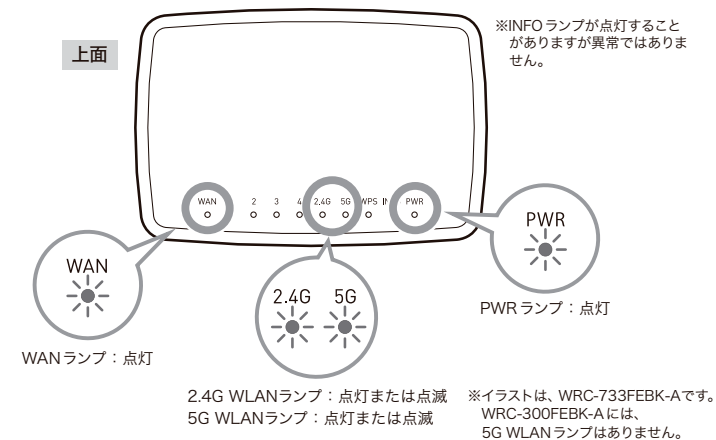
2 終端装置と本製品の電源を入れます。

- 終端装置の電源ケーブルを接続します。
 - 電源スイッチがある場合は、スイッチをオンにします。

- 本製品に付属のACアダプターを接続します。



3 モデム等のランプおよび本製品のランプが正しく点灯していることを確認します。



4 次ページに進みます。

3 SkyLink Managerを使ったセットアップ

ここでは、接続設定アプリケーションソフト「SkyLink Manager」を使ってインターネットに接続する手順を説明しています。

本製品へ無線LANで接続する方法については、P78「4. 本製品に無線LANで接続する」をお読みください。

●スカイリンクセットアップを使用した設定方法

簡単設定	簡単設定は動画を見ながら設定していく初めての方にも優しい設定方法です。 ※スマートフォンの電波が無い場合や回線契約が無いスマートフォンではムービーは表示されません。
クラシック設定	「クラシック設定」はエレコムのルーターを設定したことがある方におすすめの方法です。

スマートフォン/タブレットからの設定方法(Android編)

簡単設定を使って本製品(無線親機)に接続する

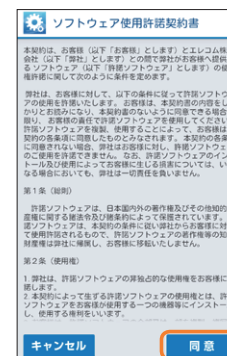
「簡単設定」を使って、セットアップする手順を説明します。

1 「Google Playストア」にて[SkyLink Manager]を検索し、アプリをインストールします。

2 端末のホーム画面で[SkyLink Manager]アイコンをタップします。



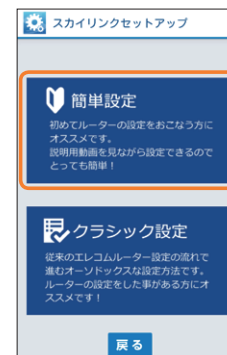
3 使用許諾契約書をお読みになり、よろしければ「同意」をタップします



4 メニューから「スカイリンクセットアップ」をタップします。



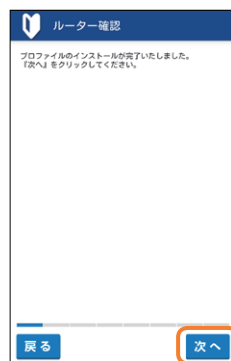
5 「簡単設定」をタップします。プロローグムービーをご視聴ください。その後「次へ」をタップし、設定を開始してください。



- 6** ルーターのWPSボタンを約5秒間押し続けてください。ルーターを検出します。その後、プロファイルが自動的にインストールされます。



- 7** プロファイルのインストール完了後、「次へ」をタップします。



MEMO

「インターネットが検出されませんでした」と表示された場合
手動設定ボタンをタップして設定を行ってください。

8 〈PPPoE接続の場合〉

プロバイダーから提供されているユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」をタップします。



〈DHCP接続の場合〉

そのまま「次へ」をタップします。



- 9** メインのSSIDの設定を行います。
SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択して「次へ」をタップします。

MEMO

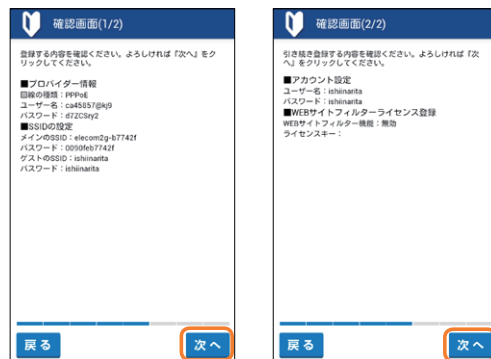
「2.4GHz/5GHzのSSIDを同じにする。」のチェックを外した場合
2.4GHzと5GHzで違うSSID名、パスワード、認証方法にすることができます。

- 10** ゲストのSSIDの設定を行います。
SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択して「次へ」をタップします。

- 11** 管理者アカウントの設定を行います。ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。

- 12** こどもネットタイマー2のWEBサイトフィルターを使う場合はWEBサイトフィルターを「ON」にしてください。その後、表示されるwebフィルターリングサービス使用許諾契約書をお読みになり、よろしければ「同意」をタップし、ライセンスキーを入力してください。入力後、「次へ」をタップします。

13 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。



14 ルーターのWPS ボタンを約5秒間押し続けてください。 設定を保存します。



15 設定の保存が完了しました。「次へ」をタップします。



MEMO 設定の保存ができない場合は

「困ったときは」をタップしてください。もしくはWEBブラウザで「えれさぽ」と検索するかエレコム・ネットワークサポートにお電話ください。

16 サポートサービスのご案内です。「次へ」をタップします。



17 セットアップが完了しました。「終了」をタップします。



18 設定中の機種名(「WRC-300FEBK-A」または「WRC-733FEBK-A」)にチェックを入れ、「OK」をタップします。



19 ブラウザを開きます。



・インターネットに接続できた場合、設定完了です。

クラシック設定を使って本製品(無線親機)に接続する

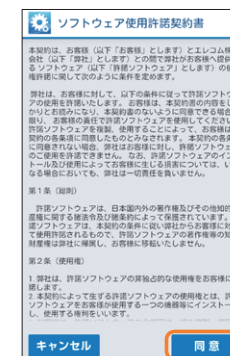
「クラシック設定」を使って、セットアップする手順を説明します。

1 「Google Playストア」にて[SkyLink Manager]を検索し、アプリをインストールします。

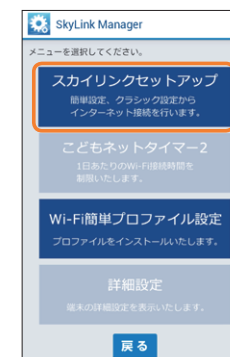
2 端末のホーム画面で[SkyLink Manager]アイコンをタップします。



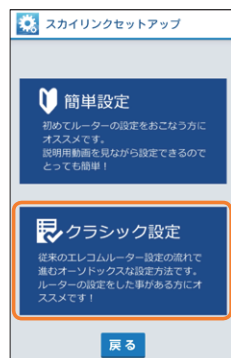
3 使用許諾契約書をお読みにになり、よろしければ「同意」をタップします



4 メニューから「スカイリンクセットアップ」をタップします。



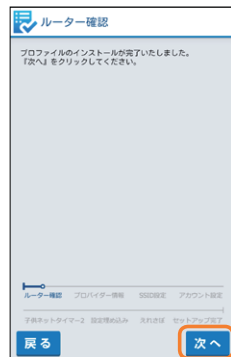
5 「クラシック設定」をタップします。



6 ルーターのWPS ボタンを約5秒間押し続けてください。ルーターを検出します。その後、プロファイルが自動的にインストールされます。

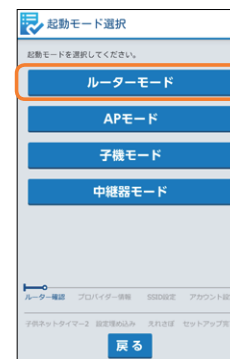


7 プロファイルのインストール完了後、「次へ」をタップします。



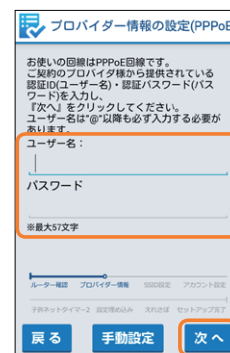
「インターネットが検出されませんでした」と表示された場合
手動設定ボタンをタップして設定を行ってください。

8 「ルーターモード」をタップします。



9 〈PPPoE接続の場合〉

プロバイダーから提供されているユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」をタップします。



〈DHCP接続の場合〉

そのまま「次へ」をタップします。



- 10** メインのSSIDの設定を行います。SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択します。入力後、「次へ」をタップします。

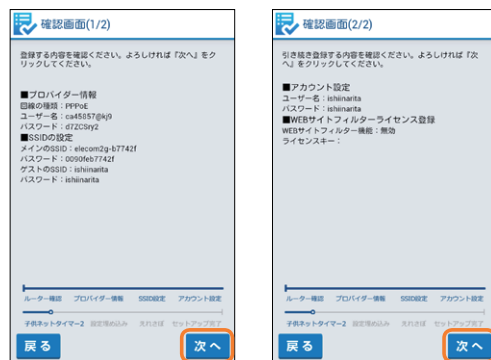
MEMO 「2.4GHz/5GHzのSSIDを同じにする。」のチェックを外した場合
「2.4GHzと5GHzで違うSSID名、パスワード、認証方法にすることができます。」

- 12** ゲストのSSIDの設定を行います。
SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択して「次へ」をタップします。

- 13** 管理者アカウントの設定を行います。
ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。

- 14** こどもネットタイマー2のWEBサイトフィルターを使う場合はWEBサイトフィルターを「ON」にしてください。その後、表示されるwebフィルターリングサービス使用許諾契約書をお読みになり、よろしければ「同意」をタップし、ライセンスキーを入力してください。入力後、「次へ」をタップします。

15 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。



16 ルーターのWPSボタンをWPSボタンを約5秒間押し続けてください。設定を保存します。



17 設定の保存が完了しました。「次へ」をタップします。

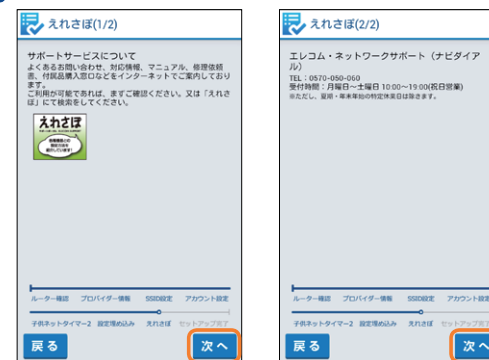


MEMO

設定の保存ができない場合は

「困ったときは」をタップしてください。もしくはWEBブラウザで「えれさば」と検索するかエレコム・ネットワークサポートにお電話ください。

18 サポートサービスのご案内です。「次へ」をタップします。



19 セットアップが完了しました。「終了」をタップします。



20 ブラウザを開きます。



・インターネットに接続できた場合、設定完了です。

スマートフォン/タブレットからの設定方法 (iOS 編)

簡単設定を使って本製品 (無線親機) に接続する

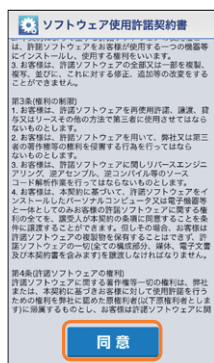
「簡単設定」を使って、セットアップする手順を説明します。

1 「iTunes Store」にて [SkyLink Manager] を検索し、アプリをインストールします。

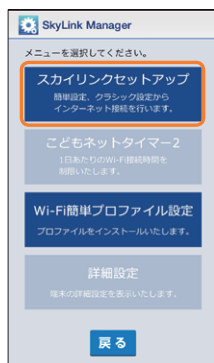
2 端末のホーム画面で [SkyLink Manager] アイコンをタップします。



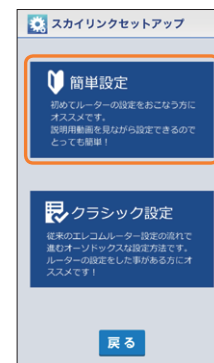
3 使用許諾契約書をお読みになり、よろしければ「同意」をタップします。



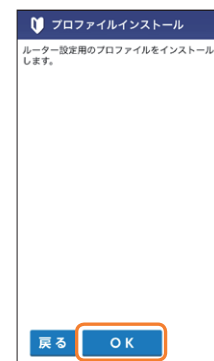
4 メニューから「スカイリンクセットアップ」をタップします。



5 「簡単設定」をタップします。



6 ルーター設定用のプロファイルをインストールします。
「OK」をタップします。



7 「インストール」をタップします。



- 8** 未署名のプロファイルの確認です。
「インストール」をタップします。



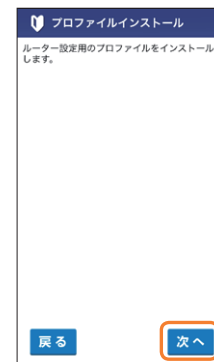
MEMO 「端末でパスワードロックを設定している場合
ロックを解除します。」

- 9** インストールが完了しました。
「完了」をタップします。



MEMO 「インターネットが検出されませんでした」と表示された場合
手動設定ボタンをタップして設定を行ってください。

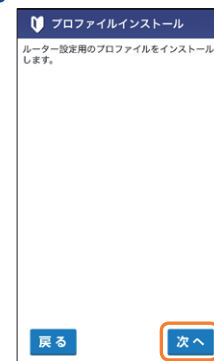
- 10** ルーター設定用のプロファイルをインストールします。
「次へ」をタップします。



- 11** ルーターのWPS ボタンを約5秒間押し続けてください。ルーターを検出します。
プロファイルインストール画面に移動します。



- 12** プロファイルのインストールが完了しました。「次へ」をタップします。



13 〈PPPoe接続の場合〉

プロバイダーから提供されているユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」をタップします。

プロバイダ情報の設定(PPPoe)

お使いの回線はPPPoe回線です。
ご契約のプロバイダ様から提供されている、
認証ID（ユーザー名）・認証パスワード（パス
ワード）を入力し、「次へ」をクリックしてく
ださい。
ユーザー名は、「@」以降も必ず入力する必要があ
ります。

ユーザー名：
パスワード：
■最大63文字

戻る 手動設定 次へ

〈DHCP接続の場合〉

そのまま「次へ」をタップします。

プロバイダ情報の設定(DHCP)

お使いの回線はDHCP回線です。
IPアドレス情報を確認し、「次へ」をクリック
してください。

IPアドレス：
デフォルトゲートウェイ：
サブネットマスク：
DNS1：
DNS2(オプション)：

戻る 手動設定 次へ

14 メインのSSIDの設定を行います。

SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択して「次へ」をタップします。

SSID設定(メイン)

Wi-Fi（無線LAN）の基本設定を行います。
メインの設定を行ってください。

2.4GHz/5GHzのSSIDを同じにする。 ☐

メインのSSID
パスワード設定
認証方法： なし

戻る 次へ

MEMO 「2.4GHz/5GHzのSSIDを同じにする。」のチェックを外した場合

2.4GHzと5GHzで違うSSID名、パスワード、認証方法にすることができます。

15 ゲストのSSIDの設定を行います。

SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択して「次へ」をタップします。

SSID設定(ゲスト)

Wi-Fi（無線LAN）の基本設定を行います。
メインの設定を行ってください。

2.4GHz/5GHzのSSIDを同じにする。 ☐

ゲストのSSID
パスワード設定
認証方法： なし

戻る 次へ

16 管理者アカウントの設定を行います。

ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。

17 こどもネットタイマー2のWEBサイトフィルタを使う場合はWEBサイトフィルタを「ON」にしてください。その後、表示されるwebフィルターリングサービス使用許諾契約書をお読みになり、よろしければ「同意」をタップし、ライセンスキーを入力してください。入力後、「次へ」をタップします。

18 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。

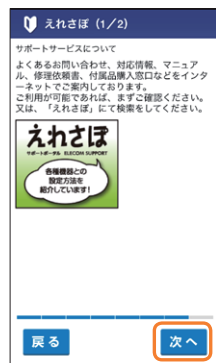
19 ルーターのWPS ボタンを約5秒間押し続けてください。設定を埋め込みます。**20** 設定の埋め込みが完了しました。「次へ」をタップします。

MEMO 設定の埋め込みができない場合

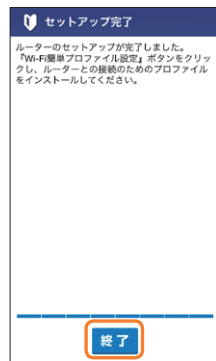
「困ったときは」をタップしてください。もしくはWEBブラウザで「えれさば」と検索するかエレコム・ネットワークサポートにお電話ください。

21 サポートサービスのご案内です。

「次へ」をタップします。



22 セットアップが完了しました。「終了」をタップします。



23 引続き、Wi-Fi簡単プロフィール接続の設定を行います。

P102 「Wi-Fi簡単プロフィール接続」へ

クラシック設定を使って本製品(無線親機)に接続する

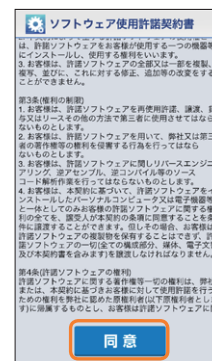
「クラシック設定」を使って、セットアップする手順を説明します。

1 「iTunes Store」にて[SkyLink Manager]を検索し、アプリをインストールします。

2 端末のホーム画面で[SkyLink Manager]アイコンをタップします。



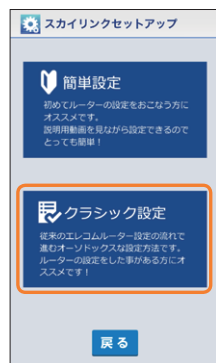
3 使用許諾契約書をお読みにになり、よろしければ「同意」をタップします。



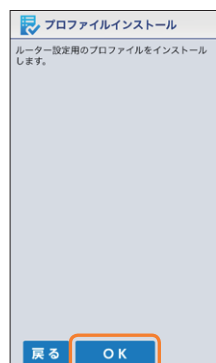
4 メニューから「スカイリンクセットアップ」をタップします。



5 「クラシック設定」をタップします。



6 ルーター設定用のプロファイルをインストールします。 「OK」をタップします。



7 「インストール」をタップします。



8 未署名のプロファイルの確認です。 「インストール」をタップします。



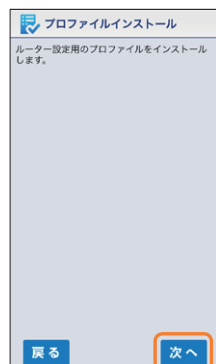
MEMO 「端末でパスワードロックを設定している場合
ロックを解除します。

9 インストールが完了しました。 「完了」をタップします。



MEMO 「インターネットが検出されませんでした」と表示された場合
手動設定ボタンをタップして設定を行ってください。

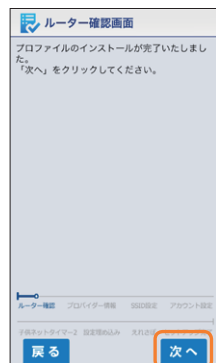
10 ルーター設定用のプロファイルをインストールします。「次へ」をタップします。



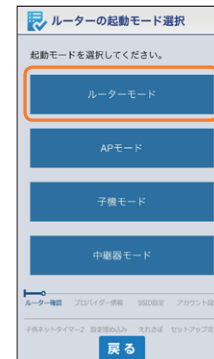
11 ルーターのWPS ボタンを約5秒間押し続けてください。ルーターを検出します。プロファイルインストール画面に移動します。



12 プロファイルのインストールが完了しました。「次へ」をタップします。

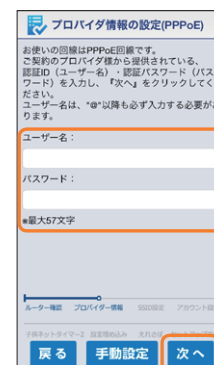


13 ルーターの起動モードを選択します。「ルーターモード」をタップします。



14 〈PPPoE接続の場合〉

プロバイダーから提供されているユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」をタップします。



〈DHCP接続の場合〉

そのまま「次へ」をタップします。



15 メインのSSIDの設定を行います。

SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択して「次へ」をタップします。

MEMO 「2.4GHz/5GHzのSSIDを同じにする。」のチェックを外した場合

2.4GHzと5GHzで違うSSID名、パスワード、認証方法にすることができます。

16 ゲストのSSIDの設定を行います。

SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択して「次へ」をタップします。

17 管理者アカウントの設定を行います。

ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。

18 こどもネットタイマー2のWEBサイトフィルターを使う場合はWEBサイトフィルターを「ON」にしてください。その後、表示されるwebフィルターリングサービス使用許諾契約書をお読みになり、よろしければ「同意」をタップし、ライセンスキーを入力してください。入力後、「次へ」をタップします。

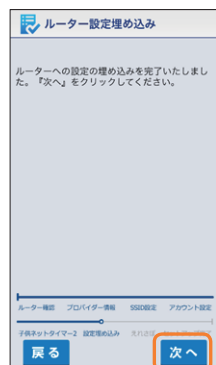
19 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。



20 ルーターのWPS ボタンを約5秒間押し続けてください。設定を埋め込みます。



21 設定の埋め込みが完了しました。「次へ」をタップします。



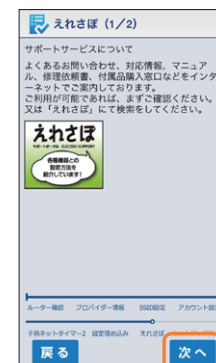
MEMO

設定の埋め込みができない場合

「困ったときは」をタップしてください。もしくはWEBブラウザで「えれさぼ」と検索するかエレコム・ネットワークサポートにお電話ください。

22 サポートサービスのご案内です。

「次へ」をタップします。



23 セットアップが完了しました。

「終了」をタップします。



24 引き続き、Wi-Fi簡単プロファイル接続の設定を行います。

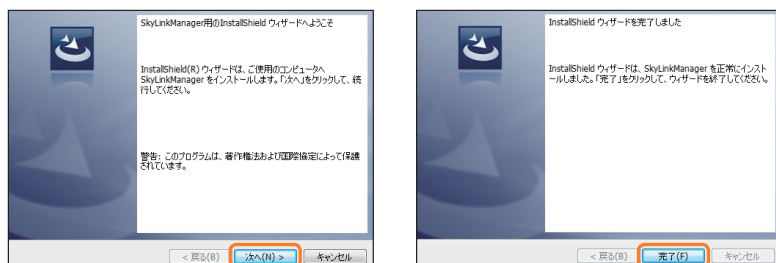
P102 「Wi-Fi簡単プロファイル接続」へ

PCからの設定方法 (Windows 編)

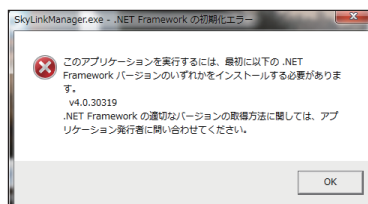
簡単設定を使って本製品(無線親機)に接続する

「簡単設定」を使って、セットアップする手順を説明します。

- 1 付属のCDをPCにセットします。自動的にインストールウィザードが立ち上がります。ウィザードの指示に従いインストールをします。



※下記画面が表示された場合には下記URLよりパッケージをダウンロードいただきインストールを行ってください。



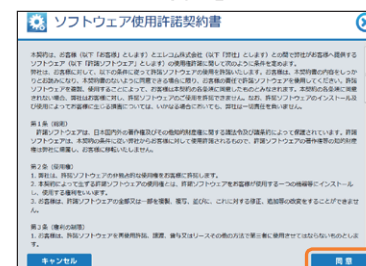
<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17718>

MEMO 「自動的にインストールウィザードが立ち上がらない場合
CD-ROMを開いて「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

- 2 インストール完了後、デスクトップ上の[SkyLink Manager]アイコンをダブルクリックします。



- 3 使用許諾契約書をお読みにになり、よろしければ「同意」をクリックします。



- 4 メニューから「スカイリンクセットアップ」をクリックします。



- 5 「簡単設定」をクリックします。プロローグムービーをご視聴ください。その後、設定が開始されます。
※▶スタートボタンを押して視聴ください。



- 6** ルーターのWPSボタンを約5秒間押し続けてください。ルーターを検出します。その後、プロファイルが自動的にインストールされます。プロファイルのインストール完了後、「次へ」をクリックします。



MEMO 「インターネットが検出されませんでした」と表示された場合
手動設定ボタンをクリックして設定を行ってください。

- 7** 〈PPPoE接続の場合〉
プロバイダーから提供されているユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」をタップします。



- 〈DHCP接続の場合〉
そのまま「次へ」をタップします。



- 8** メインのSSIDの設定を行います。SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択します。入力後、「次へ」をクリックします。



MEMO 「2.4GHz/5GHzのSSIDを同じにする。」のチェックを外した場合
「2.4GHzと5GHzで違うSSID名、パスワード、認証方法にすることができます。」

- 9** ゲストのSSIDの設定を行います。
SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択して「次へ」をクリックします。



- 10** 管理者アカウントの設定を行います。
ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をクリックします。



- 11** こどもネットタイマー2のWEBサイトフィルターを使う場合はWEBサイトフィルターを「ON」にしてください。その後、表示されるwebフィルターリングサービス使用許諾契約書をお読みにになり、よろしければ「同意」をクリックし、ライセンスキーを入力してください。入力後、「次へ」をクリックします。



- 12** 登録内容を確認します。
問題がなければ「次へ」をクリックします。



- 13** ルーターのWPSボタンを約5秒間押し続けてください。設定を埋め込みます。
設定の埋め込みが完了したら、「次へ」をクリックします。



MEMO

設定の埋め込みができない場合
「困ったときは」をタップしてください。もしくはWEBブラウザで「えれさぽ」と検索するかエレコム・ネットワークサポートにお電話ください。

- 14** サポートサービスのご案内です。
「次へ」をクリックします。



- 15** セットアップが完了しました。
「終了」をクリックします。



- 16** ブラウザを開きます。

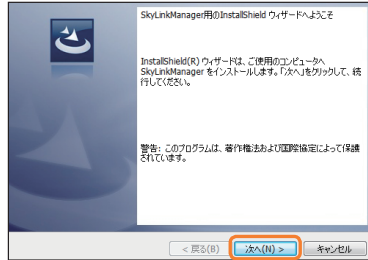


インターネットに接続できた場合、設定完了です。

クラシック設定を使って本製品(無線親機)に接続する

「クラシック設定」を使って、セットアップする手順を説明します。

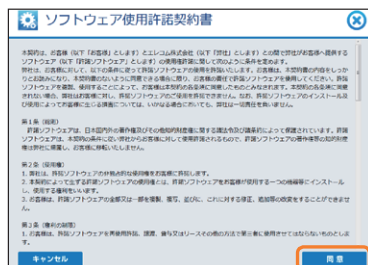
- 1 付属のCDをPCにセットします。自動的にインストールウィザードが立ち上がります。ウィザードの指示に従いインストールをします。



- 2 インストール完了後、デスクトップ上の「SkyLink Manager」アイコンをダブルクリックします。



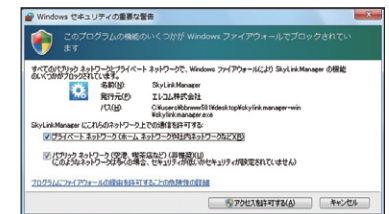
- 3 使用許諾契約書をお読みになり、よろしければ「同意」をクリックします。



- 4 メニューから「スカイリンクセットアップ」をクリックします。



- 5 「クラシック設定」をクリックします。



※セキュリティ警告が出る場合がございます。
ご確認の上、問題がなければ「アクセスを許可する」をクリックします。

- 6 ルーターのWPSボタンを約5秒間押し続けてください。ルーターを検出します。自動的にインストールされます。プロフィールのインストール完了後、「次へ」をクリックします。



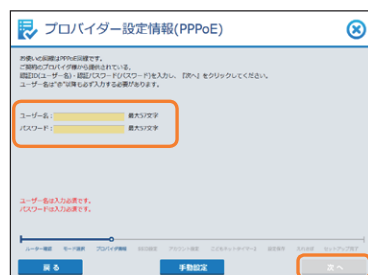
MEMO 「インターネットが検出されませんでした」と表示された場合
手動設定ボタンをクリックして設定を行ってください。

- 7** ルーターの起動モード選択を行ないます。
「ルーター」をクリックします。



- 8** 〈PPPoe接続の場合〉

プロバイダーから提供されているユーザー名とパスワードを入力し、
「次へ」をタップします。



〈DHCP接続の場合〉

そのまま「次へ」をタップします。



- 9** メインのSSIDの設定を行います。SSID名、パスワードを記入し、
認証方法を選択します。入力後、「次へ」をクリックします。



MEMO

「2.4GHz/5GHzのSSIDを同じにする。」のチェックを外した場合

「2.4GHzと5GHzで違うSSID名、パスワード、認証方法にすることができます。

- 10**

ゲストのSSIDの設定を行います。

SSID名、パスワードを記入し、認証方法を選択して「次へ」をクリックします。



- 11**

管理者アカウントの設定を行います。

ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をクリックします。



- 12** こどもネットタイマー2のWEBサイトフィルターを使う場合はWEBサイトフィルターを「ON」にしてください。その後、表示されるwebフィルターリングサービス使用許諾契約書をお読みにになり、よろしければ「同意」をクリックし、ライセンスキーを入力してください。入力後、「次へ」をクリックします。



- 13** 登録内容を確認します。
問題がなければ「次へ」をクリックします。



- 14** ルーターのWPS ボタンを約5秒間押し続けてください。設定を埋め込みます。
設定の埋め込みが完了したら、「次へ」をクリックします。



MEMO

設定の埋め込みができない場合
「困ったときは」をタップしてください。もしくはWEBブラウザで「えれさぽ」と検索するかエレコム・ネットワークサポートにお電話ください。

- 15** サポートサービスのご案内です。
「次へ」をクリックします。



- 16** セットアップが完了しました。
「終了」をクリックします。



- 17** ブラウザを開きます。



インターネットに接続できた場合、設定完了です。

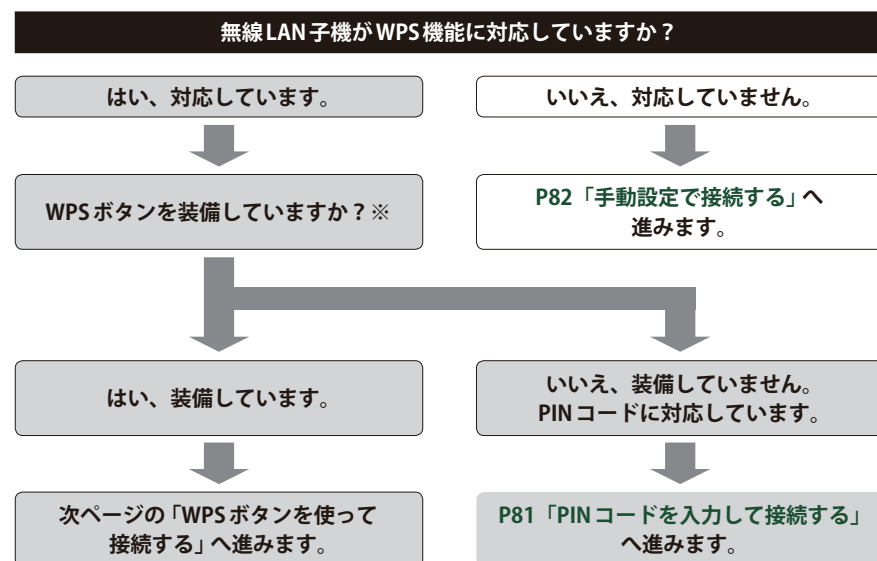
4 本製品に無線LANで接続する

パソコンの無線LAN子機から本製品を経由してインターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品はWPS機能に対応しています。WPS機能に対応する無線LAN子機との組み合わせで簡単に無線LAN機能を設定できます。ボタンを押すだけで設定ができる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PINコード方式」の両方に対応しています。

WPS機能に対応していない無線LAN子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線LAN子機側に設定することで接続することができます。

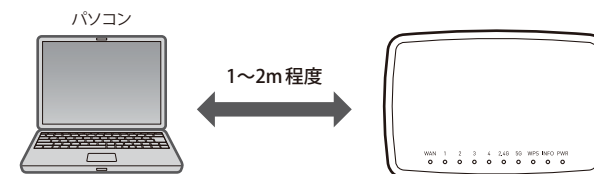


※ WPSボタンについて

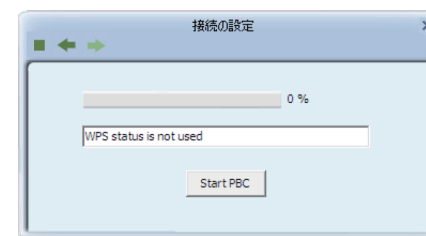
WPSの「プッシュボタン方式」は、無線LAN子機本体に装備されている「WPSボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPSボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPSボタンを使って接続する

1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。

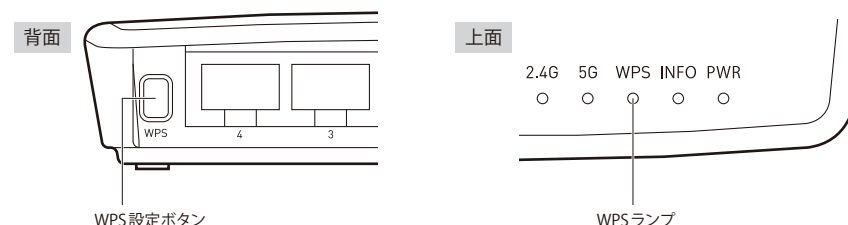


2 無線LAN子機の説明書をお読みにになり、無線LAN子機側が「WPS」を実行できるように準備します。



※弊社無線LANアダプターの設定ユーティリティの画面例

3 本製品の背面にある「WPS設定ボタン」を2秒以上押して、離します。



- 左側面にあるWPSランプが赤色に点滅し、WPS対応の無線LAN子機の接続を待つ状態になります。WPSランプの点滅中に接続を完了する必要があります。

MEMO

- 赤色に点灯しない場合は、再度押してください。
- 接続が完了するか、一定時間(約2分間)がすぎるとWPSランプは消灯します。

4 無線LAN子機側のWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。

- 本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリックします。
- ユーティリティによっては、[PBC]など、表記が異なることがありますので、無線LAN子機の説明書をお読みください。

5 無線LAN子機側の設定ユーティリティなどで、本製品に接続できたことを確認します。

6 Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。



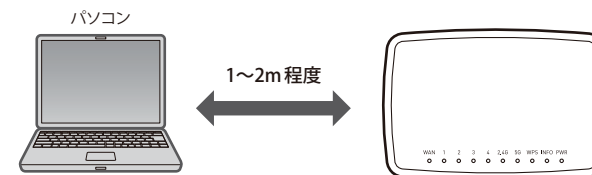
エレコム Web サイト <http://www.elecom.co.jp/>

7 これでWPS機能を使った無線LAN子機の設定は完了です。

PINコードを入力して接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。無線LAN子機側に設定されたPINコードを本製品に入力して、WPS機能を実行します。無線親機側のPINコードを使用する場合については、無線LAN子機のマニュアルを参照してください。

1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



2 無線LAN子機の説明書をお読みにになり、無線LAN子機のPINコードをメモします。

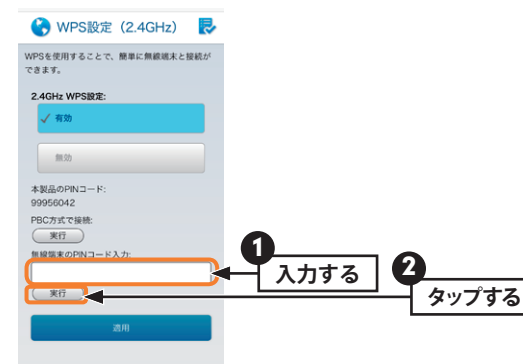
無線LAN子機のPINコード

3 本製品の設定ユーティリティを表示します。

- 設定ユーティリティの表示方法については、P110「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。

4 詳細設定のメニューリストから[無線設定]→[WPS設定]を選択します。

5 [無線端末のPINコード入力]に、無線LAN子機のPINコードを入力し、**実行**をタップします。



6 設定後、無線LAN子機を搭載したパソコンからインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

手動設定で接続する

WPS機能を持たない無線LAN子機の場合は、無線LAN子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



- 2 無線LAN子機の設定ユーティリティを起動します。
• OS標準の無線LAN機能の場合も、SSIDの一覧を表示させます。

- 3 設定ユーティリティのリスト上に表示されたSSIDの中から、ご自身で設定されたメインのSSID名を選択し、パスワードを入力します。
無線LAN子機の設定ユーティリティにある[暗号化]に関する設定画面を表示します。
(→ P118 「暗号化設定」)
無線LAN子機の説明書をお読みにになり、本製品の設定内容を無線LAN子機側に設定します。



- 6 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

Chapter 3

SkyLink Manager 編

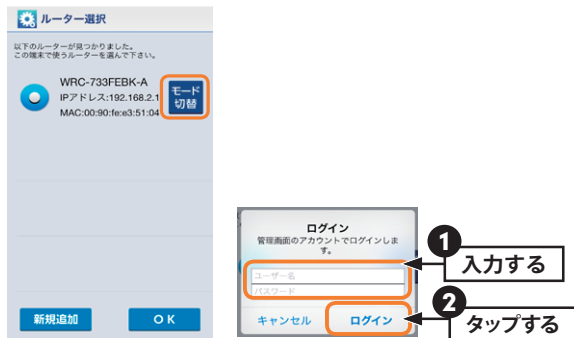
1 ルーターの起動モード選択画面について

ルーターモードのほか、本製品をアクセスポイントとして使用する「APモード(無線LAN アクセスポイントモード)」、子機として使用する「子機モード(コンバーターモード)」、中継機として使用する「中継器モード(リピーターモード)」を選択することができます。詳しくはAppendixの各ページをお読みください。ここでは、ルーター選択画面からルーターの起動モード選択画面を表示する方法を説明します。

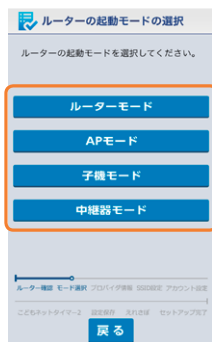
ルーターの起動モード選択画面を表示する

本製品の設定をするために、初めに本製品をルーターモードで接続してください。詳細は「Chapter 2 接続編」をご覧ください。

- 1 SkyLink Managerを開きルーター選択画面で、設定を変更したいルーターの「モード切替」をタップします。ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をタップします。



- 2 ルーターの起動モードの選択画面で、変更したいモードをタップします。

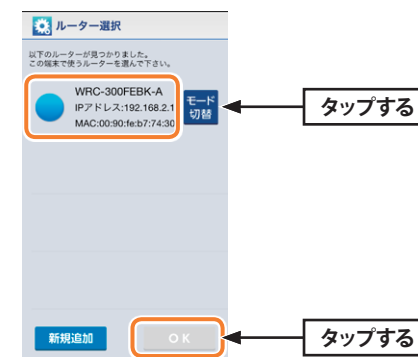


2 SkyLink Manager ホーム画面について

本製品の各種機能を設定するには、スマートフォン・タブレットやパソコンから「SkyLinkManager」を使って、本製品とインターネットの接続を完了している必要があります。ここでは、簡単にSkyLink Manager ホーム画面を表示する方法を説明します。

SkyLink Manager ホーム画面を表示する

- 1 SkyLink Managerを起動します。
- 2 設定を変更したいルーターをタップし「OK」をタップします。



MEMO 設定したいルーターが表示されない場合
スマートフォン・タブレットやパソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、電源を入れてください。

SkyLink Manager ホーム画面の内容

SkyLink Manager ホーム画面にある各画面の概要を説明します



メニュー項目	内容
スカイリンクセットアップ	簡単設定、クラシック設定を使用してインターネット初期設定を行うことができるメニューです(→P32)。画面の指示に従い操作するだけで簡単に接続できます。
こどもネットタイマー2	WEBサイトフィルタで有害サイトからお子様を守り、Wi-Fiゲーム機やスマートフォン、パソコンなどからインターネットへ接続する時間を1日単位で制限することができます。タイマーとスケジュールを同時設定ができますので、お子様のインターネット利用を安心して管理することができるメニューです。(→P87)
Wi-Fi簡単プロファイル設定	スカイリンクセットアップで行った設定のプロファイルをインストールし、ルーターへの接続を簡単に行うことができるメニューです。(→P102)
詳細設定	本製品の詳細な設定を行うためのメニューです。モード変更(→P113)、無線設定(→P115)、WAN&LAN設定(→P128)、こどもネットタイマー2(→P87)などがあります。

3 こどもネットタイマー2

「こどもネットタイマー2」機能の特長および各種設定方法について説明します。

こどもネットタイマー2でできること

「こどもネットタイマー2」機能は、接続されたWi-Fi 機器に対して、有害WEBサイトの閲覧を制限したり、タイマー設定することでWi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を制限することができる機能です。お子様の有害なサイトへのアクセスをブロックしたい場合や、Wi-Fiゲーム機の利用時間を制限したい場合などにオススメです。

- 予め設定された「おすすめ設定」を選択するだけで、手軽に有害サイトへの閲覧制限や利用時間の設定が可能です。
- こどもネットタイマーでは出来なかった、タイマー機能とスケジュールを同時に使用することが可能になりました。これにより、「何曜日の何時から何時まで2時間」「月・水・金曜日に2時間」等の細かな設定が可能になりました。
- 接続時間の制限方法は、1日の決められた時間のみ接続を許可する「スケジュール設定」と、1日あたりのWi-Fi接続時間の上限を設定できる「タイマー設定」の2種類があります。
- 機器ごとに接続制限設定が可能です。時間外または累計時間が過ぎた時点でWi-Fi接続ができなくなります。
※ 接続する機器によっては、制限された時間を超えてもWi-Fi接続が切断されない場合がありますが、この場合でもインターネットへの接続はできなくなります。
- Wi-Fiゲーム機をはじめスマートフォンやタブレット、パソコンなどのWi-Fi機器にも設定できます。
- 「こどもネットSSID」を使用するWi-Fi機器に対してWPS機能を使って接続できます。
- AP/中継器/子機モード時はご利用になれません。
- クライアントとの通信環境が悪い場合、正常に接続制限機能が作動しないことがあります。
- 設定を削除したい場合は、Wi-Fi機器側のプロファイルを削除してから本製品側で設定の削除をおこなってください。



- こどもネットタイマー2機能を利用する場合は、WPS 機能を使って通常のSSID 接続に変更されてしまうことを防ぐために、本機能設定後に本製品のWPS 機能を無効にすることをお勧めします。
- ニンテンドーDS Lite など、暗号機能がWEP にしか対応していない機器を接続される場合は、マルチSSID の設定を行い、接続するSSID の暗号機能の設定を、あらかじめ「WPA2-AES」から「WEP」に変更してください。(→ P118 「暗号化設定」)

こどもネットタイマー2の設定方法

「こどもネットタイマー2」をセットアップする手順を説明します。

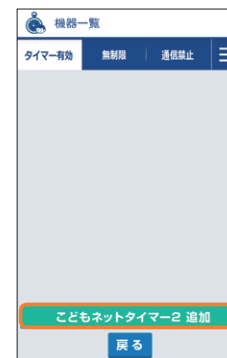
1 「こどもネットタイマー2」をタップします



2 本製品のセットアップを行なった際に設定した管理者の「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をタップします。



3 「こどもネットタイマー2 追加」をタップします。



MEMO 以前に作成した設定を変更したい場合は手順 **6** に移動します。

4 接続方法または接続機器を選択します。



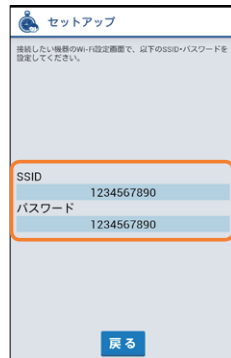
5 〈①を選択した場合〉

マニュアルが表示されますので、内容を確認しながら設定します。

設定が終わると下記画面が表示されます。「WPS開始」をタップします。

**6** 〈②を選択した場合〉

下記画面の「SSID」、「パスワード」を確認しiOS機器のWi-Fi設定から本製品を選び確認したパスワードを入力します。iOSの設定が完了後「戻る」をタップします。

**MEMO****iOS 機器の Wi-Fi 設定の場合**

iOS 機器の「設定」メニューより「Wi-Fi」を選択し、設定したルーターを選び確認したパスワードを入力します。

6 機器一覧画面に戻り、追加された機器をタップします。**7** 機器情報が表示されますので必要な項目を設定をし、「保存」をタップして終了します。**①機器詳細情報**

本製品の詳細情報を表示します。機器名称は変更することができます。



②観覧履歴

観覧したwebサイトの履歴を表示します。

③おすすめ設定

WEBサイトフィルター・時間管理を1年生～6年生までの各学年向けに設定できます。

④WEBサイトフィルター設定

WEBサイトフィルターを5段階で設定できます。

⑤最大利用時間設定

接続できる時間を設定します。

⑥スケジュール設定

利用する開始時間と終了時間を設定します。

⑦繰り返し設定

利用する曜日を設定します。

画面の表示

詳細設定メニューリストから[こどもネットタイマー2]を選択します。



●設定の内容

機器一覧	Wi-Fi接続されている機器が一覧で表示されます。 それぞれの 編集 ボタンをタップすると個々に設定することができます。
おすすめ設定	おすすめ設定の内容を変更することができます。 1つ1つの設定に対して細かなカスタマイズすることが可能です。
WEBサイト フィルター設定	おすすめフィルター設定の内容を変更することができます。 1つ1つの設定に対して細かなカスタマイズすることが可能です。

機器一覧 画面

Wi-Fi接続されている機器が一覧で表示されます。それぞれの **編集** ボタンをタップすると設定を編集することができます。

画面の表示

こどもネットタイマー2のメニューリストから[機器一覧]を選択します。



●表示内容

機器名称	接続しているWi-Fi機器の名称が表示されます。名称は[編集]で変更することもできます。
MACアドレス	接続しているWi-Fi機器のMACアドレスが表示されます。
おすすめ設定	設定されている設定名が表示されます。
WEBサイトフィルター	設定されている設定名が表示されます。
残り時間	1日に接続できる時間のうち、残り時間を表示します。
タイマー	接続可能な時間を表示します。
スケジュール	接続可能な時間帯を表示します。
繰り返し	繰り返す曜日が表示されます。

機器の編集

画面の表示 [機器一覧]の左にあるを **編集** タップします。



MEMO 設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

機器名称	接続しているWi-Fi機器の名称が表示されます。名称は変更することもできます。
おすすめ設定	予め設定された設定をレベル別を選択できます。Level1～5まで用意されています。
通信禁止	通信を禁止する場合にタップします。
WEBサイトフィルター	WEBサイトフィルターの有効/無効を設定します。有効の場合は、任意の設定を選択します。
タイマー	タイマーの有効/無効を設定します。有効の場合は、1日で接続可能な時間を設定します。
スケジュール	スケジュールの有効/無効を設定します。有効の場合は、1日で接続可能な時間帯を設定します。
繰り返し	設定を実行する曜日を設定します。

おすすめ設定 画面

画面の表示 こどもネットタイマー2のメニューリストから[おすすめ設定]を選択します。



●表示内容

タイトル	おすすめ設定の名称が表示されます。名称は[編集]で変更することもできます。
WEBサイトフィルター	設定されている設定名が表示されます。
タイマー	接続可能な時間を表示します。
スケジュール	接続可能な時間帯を表示します。
繰り返し	繰り返す曜日が表示されます。

おすすめ設定の編集

画面の表示 [おすすめ設定]の左にあるを **編集** タップします。



MEMO 設定を変更した場合

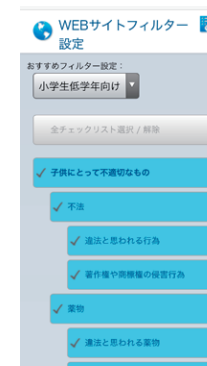
設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

おすすめ設定名称	おすすめ設定の名称が表示されます。名称は変更することもできます。
WEBサイトフィルター	WEBサイトフィルターの有効/無効を設定します。 有効の場合は、任意の設定を選択します。
タイマー	タイマーの有効/無効を設定します。 有効の場合は、1日で接続可能な時間を設定します。
スケジュール	スケジュールの有効/無効を設定します。 有効の場合は、1日で接続可能な時間帯を設定します。
繰り返し	設定を実行する曜日を設定します。

WEBサイトフィルター設定 画面

画面の表示 こどもネットタイマー2のメニューリストから[WEBサイトフィルター設定]を選択します。



MEMO 設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

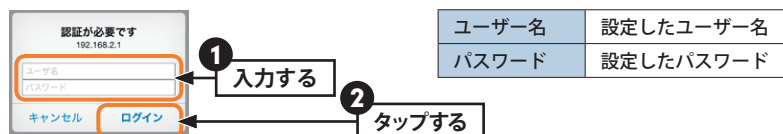
おすすめフィルター設定	おすすめフィルター設定の名称が表示されます。設定を変更したい項目を選択します。
チェックリスト	フィルターをかけたい項目にチェックをいれると、関係するWEBサイトにアクセスすることをブロックすることができます。

こどもネットタイマー2の対象となるWi-Fi機器の登録

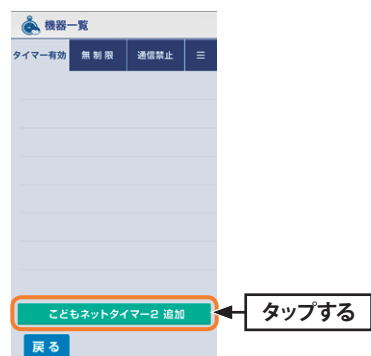
はじめて、こどもネットタイマー2を設定するときは、Wi-Fi機器を登録する必要があります。
あらかじめSkyLink Managerの「こどもネットタイマー2」より登録ください。

●Wi-Fi機器がWPSに対応している場合

- 1 SkyLink Managerの「こどもネットタイマー2」をタップします。
ユーザー名とパスワードを入力します。



- 2 <こどもネットタイマー2>画面で「こどもネットタイマー2追加」をタップします。



- 3 任意の接続方法または接続機器を選択し、それぞれの手順に沿って設定してください。



- 4 正常に接続できると、接続されたWi-Fi機器が「無制限」の一覧に追加されます。



MEMO Wi-Fi機器がWPSに対応していない場合

Wi-Fi機器の説明書をお読みになり、SSIDおよび暗号キーを手動で設定してください。

- ・SSIDは「こどもネットSSID」を選択します。
- ・本製品のSSIDと暗号キーは「手動設定 (iOS機器)」をタップすると表示されます。



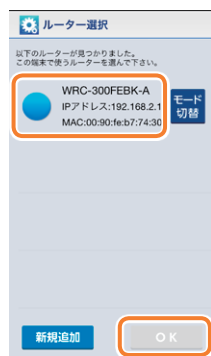
4 Wi-Fi 簡単プロフィール設定

複数台ルーターが有る場合や端末の入替え、複数の端末で管理する際に、ルーターのプロファイルを簡単に端末へ保存することができます。

Wi-Fi 簡単プロフィール設定の設定方法

「簡単設定」または「クラシック設定」を行い接続した後、引き続き「Wi-Fi 簡単プロフィール設定」をします。

- 1 設定を変更したいルーターをタップし、「OK」をタップします。

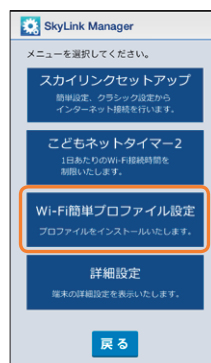


MEMO

設定したいルーターが表示されない場合

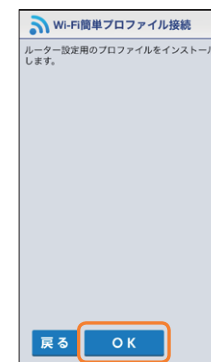
スマートフォン・タブレットやパソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、電源を入れてください。

- 2 SkyLink Manager ホーム画面で「Wi-Fi 簡単プロフィール設定」をタップします。



- 3 ルーター設定用のプロファイルをインストールします。

「OK」をタップします。



- 4 未署名のプロファイルの確認です。「インストール」をタップします。



- 5 インストールが完了します。「完了」をタップします。

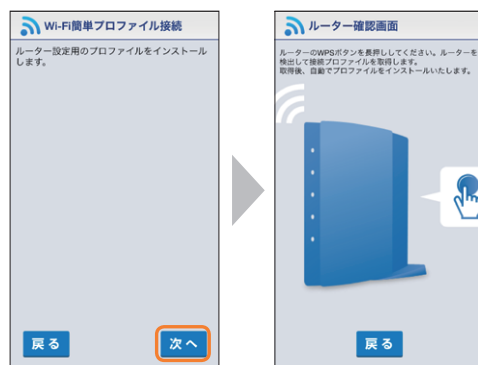
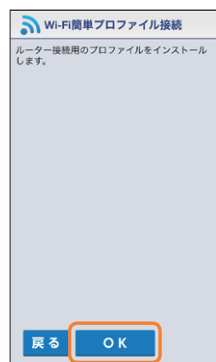


6 SkyLink Managerでページを開きます。

「開く」をタップします。

**7** ルーター設定用のプロファイルをインストールします。「次へ」をタップします。

ルーターのWPSボタンを5秒押し、ルーターを検出します。

**8** ルーターの検出が完了します。「OK」をタップします。**9** ルーター設定用のプロファイルをインストールします。

「インストール」をタップします。

**10** 「完了」をタップし、インストールを完了します。**11** プロファイルのインストールを完了します。

「次へ」をタップし、「終了」をタップします。



- 12** 設定中の機種名(「WRC-300FEBK-A」または「WRC-733FEBK-A」)にチェックを入れ、「OK」をタップします。



- 13** ブラウザを開きます。



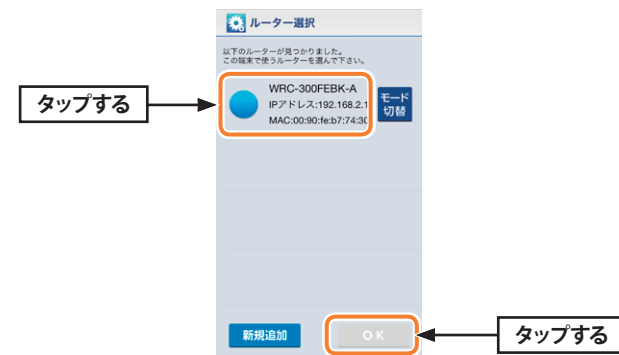
インターネットに接続できた場合、設定完了です。

5 設定ユーティリティ(詳細設定)について

本製品の各種機能を設定するには、スマートフォン・タブレットやパソコンから「SkyLinkManager」を使って、本製品とインターネットの接続を完了している必要があります。ここでは、簡単にSkyLink Manager ホーム画面を表示する方法を説明します。

設定ユーティリティ(詳細設定)を表示する

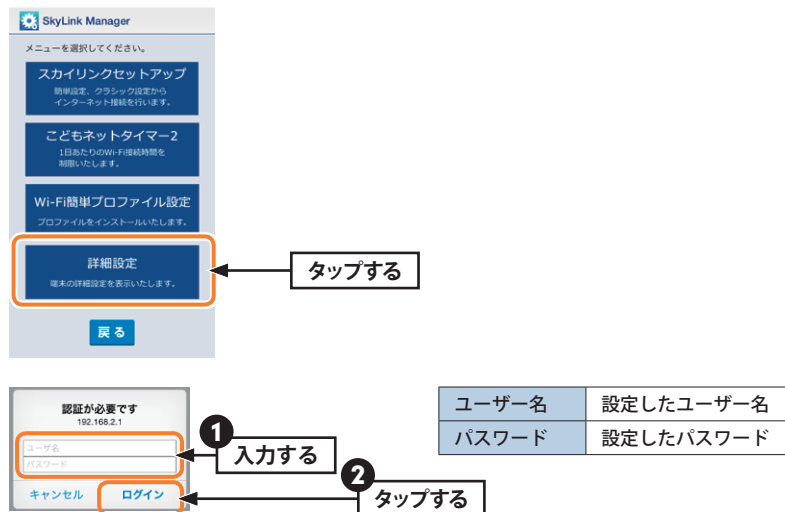
- 1 SkyLinkManagerを起動します。
- 2 設定を変更したいルーターをタップし「OK」をタップします。



MEMO

設定したいルーターが表示されない場合

スマートフォン・タブレットやパソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待つてから、電源を入れてください。

3 詳細設定をタップしユーザー名とパスワードを入力し、**ログイン** をタップします。

- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

Chapter 4

詳細設定編

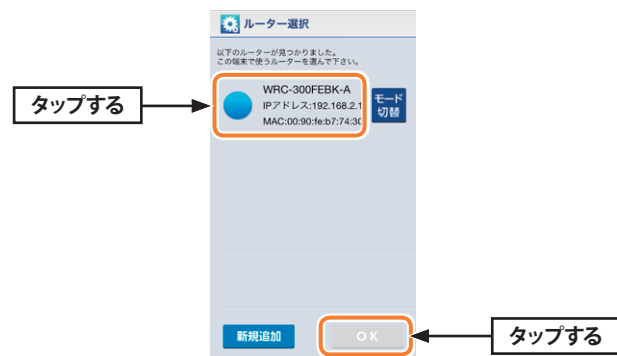
1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、スマートフォン・タブレットやパソコンから「SkyLinkManager」を使って、本製品とインターネットの接続を完了している必要があります。ここでは、簡単にSkyLink Manager ホーム画面を表示する方法を説明します。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 SkyLinkManagerを起動します。

2 設定を変更したいルーターをタップし、**OK** をタップします。

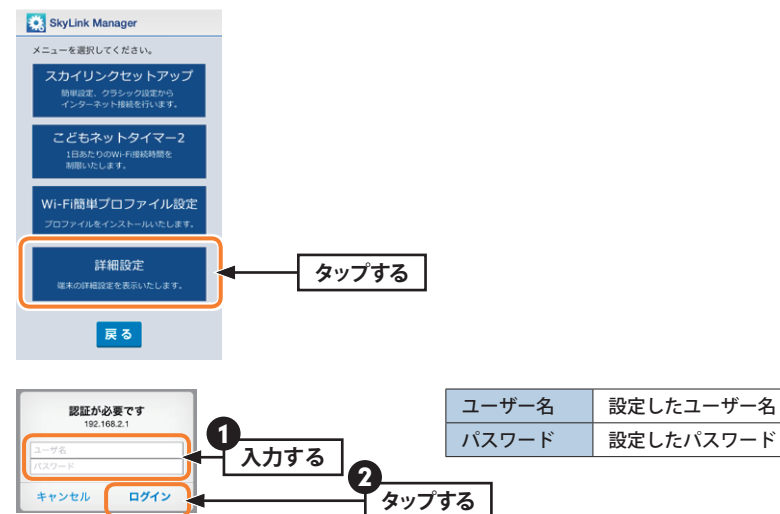


MEMO

設定したいルーターが表示されない場合

スマートフォン・タブレットやパソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、電源を入れてください。

3 詳細設定をタップしユーザー名とパスワードを入力し、**ログイン** をタップします。



- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

設定ユーティリティ画面の内容

設定ユーティリティにある各画面の概要を説明します。

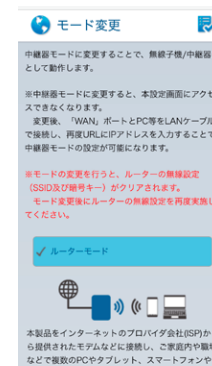


メニュー項目	内容
モード変更	ルーター/APモードのほか、本製品を子機として使用することができる「子機モード (コンバーターモード)」中継器として使用することができる「中継器モード (リピーターモード)」を選択するための画面です (→P162)。
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。2.4GHz帯と5GHz帯のそれぞれに基本設定 (→P116・P117)、暗号化設定 (→P118)、WPS 設定 (→P125)、があります。
WAN & LAN 設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN設定 (→P128)、WAN設定 (→P131) があります。
こどもネットタイマー2	WEBサイトフィルターで有害サイトからお子様を守り、Wi-Fiゲーム機やスマートフォン、パソコンなどからインターネットへ接続する時間を1日単位で制限することができます。タイマーとスケジュールを同時設定ができますので、お子様のインターネット利用を安心して管理することができるメニューです。 (→P94)
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。 (→P136)
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。アクセスコントロール (→P137)、ポートフォワーディング (→P139)、URLフィルタリング (→P141)、DMZ (→P142)があります。
QoS 設定	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます (→P144)。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス (→P146)、ファームウェア更新 (→P147)、設定保存と読み込み (→P153)、パスワード設定 (→P155)があります。

2 モード変更

ルーターモードのほか、本製品をアクセスポイントとして使用する「APモード (無線LAN アクセスポイントモード)」、子機として使用する「子機モード (コンバーターモード)」、中継機として使用する「中継器モード (リピーターモード)」を選択することができます。詳しくはAppendixの各ページをお読みください。

詳細設定のメニューリストから[モード変更]を選択します。



APモードへの変更

- 1 [SkyLink Managerを開き、ルーター選択画面で、設定を変更したいルーターの「モード切替」をタップします。ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、**ログイン**をタップします。
- 2 ルーターの起動モードの選択画面で、「APモード」をタップします。
- 3 メインのSSIDの設定を行います。SSID名、パスワードを記入して「次へ」をタップします。
- 4 ゲストのSSIDの設定を行います。SSID名、パスワードを記入して「次へ」をタップします。
- 5 管理者アカウントの設定を行います。ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。
- 6 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。
 - ・「ルーターに接続完了いたしました」と表示されたら変更完了です。

子機モードへの変更

- 1 [SkyLink Managerを開き、ルーター選択画面で、設定を変更したいルーターの「モード切替」を **ログイン** タップします。ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、をタップします。
- 2 ルーターの起動モードの選択画面で、「子機モード」をタップします。
- 3 SSID 選択画面で、接続したい親機の SSID をタップします。
- 4 LAN の SSID の設定を行います。親機のパスワードを入力し、「次へ」をタップします
- 5 管理者アカウントの設定を行います。ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。
- 6 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。
 - ・「ルーターに接続完了いたしました」と表示されたら変更完了です。

中継器モードへの変更

- 1 [SkyLink Managerを開き、ルーター選択画面で、設定を変更したいルーターの「モード切替」を **ログイン** タップします。ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、をタップします。
- 2 ルーターの起動モードの選択画面で、「中継器モード」をタップします。
- 3 SSID 選択画面で、接続したい親機の SSID をタップします。
- 4 LAN の SSID の設定を行います。親機のパスワードを入力し、「次へ」をタップします。
- 5 管理者アカウントの設定を行います。ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。
- 6 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。
 - ・「ルーターに接続完了いたしました」と表示されたら変更完了です。

3 無線設定

本製品の無線LAN機能を設定します。

無線設定

無線LANの有効/無効を2.4GHz帯(11n/g/b)と5GHz帯(11ac/an)[※]の設定ができます。



※ 5GHz 帯 (11ac/an) は WRC-733FEBK-A のみ設定可能です。

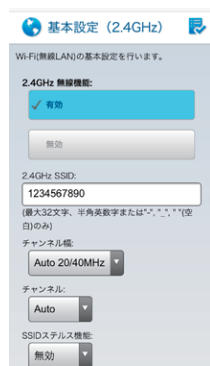
● 設定の内容

2.4GHz無線機能	2.4GHz帯を使用する11n/g/b規格の無線LAN機能を有効にするか無効にするかを選択できます。
5GHz無線機能	5GHz帯を使用する11ac/an規格の無線LAN機能を有効にするか無効にするかを選択できます。(WRC-733FEBK-Aのみ)

基本設定 (2.4GHz 帯 [11n/g/b] の場合)

MEMO 5GHz 帯 [11ac] の設定については、P91「基本設定 (5GHz 帯 [11ac/11an] の場合)」をお読みください。

画面の表示 無線設定のメニューリストから [基本設定] を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

2.4G SSID	無線 LAN で使用する SSID を入力します。
チャンネル幅	11n 規格でのチャンネル幅を設定します。11n 対応の無線クライアントと接続する場合、「Auto 20/40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線 LAN との干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Auto または 1~13ch から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は 5 チャンネル以上離してください。Auto を選択すると、自動でチャンネルが設定されます。(例) 1ch/6ch/11ch
SSID ステルス機能	「無効」の場合は、無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定した SSID を確認することができます。「有効」にした場合は、無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどで、本製品の SSID を表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値：無効)

基本設定 (5GHz 帯 [11ac/11an] の場合)

MEMO 2.4GHz 帯 [11n/g/b] の設定については、P90「基本設定 (2.4GHz 帯 [11n/g/b] の場合)」をお読みください。

画面の表示 無線設定のメニューリストから [基本設定] を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

5G SSID	無線 LAN で使用する SSID を入力します。
チャンネル幅	11ac 規格でのチャンネル幅を設定します。11ac 対応の無線クライアントと接続する場合、「Auto 80/40/20MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線 LAN との干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
チャンネル	以下の中から、使用するチャンネルを選択します。 Auto、ch 36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140 ※「ch 132」と「ch 136」では 80MHz は使用できません。「ch 140」では 80/40MHz は使用できません。
SSID ステルス機能	「無効」の場合は、無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定した SSID を確認することができます。「有効」にした場合は、無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどで、本製品の SSID を表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値：無効)

暗号化設定

無線LANで使用するデータの暗号化など、セキュリティの設定方法について説明します。

画面の表示

無線設定のメニューリストから[暗号化設定]を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●本製品で設定可能な暗号化セキュリティ機能

WPA プレシェードキー	データの暗号化だけでなく認証機能も含まれた二重のセキュリティ機能です。WEPよりも高度な暗号化方式で、パソコンを使う無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。 本製品では、WPA2-PSK (AES) が使用できます。
WEP	無線LANの普及期からある暗号化方式です。本製品は64bitと128bitの2種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線LAN環境で「WPA プレシェードキー」が使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。 ※ WEPにしか対応していない携帯用ゲーム機のWi-Fi接続や「こどもネットタイマー2」において、WEPによる暗号化機能を利用する場合は、こちらをご使用ください。

WPA-PSK の設定

WPA プレシェードキー (WPA-PSK) を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSKは、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。



注意

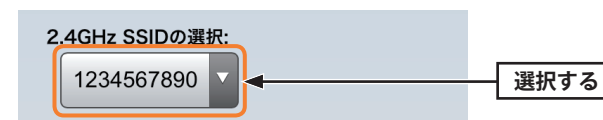
本製品および本製品に接続する、すべての無線LAN子機は、無線LANに関する各項目の設定値が同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LAN子機から本製品にアクセスすることはできません。

画面の表示

無線設定のメニューリストから[暗号化設定]を選択します。



1 [SSIDの選択] で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。



2 [認証方式]で、「WPA Pre-Shared Key」を選択します。



3 [暗号方式]で、暗号化の種別を選択します。



MEMO ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。本製品はWPA-PSKの場合は「TKIP」のみになります。

WPA2 (AES)	WPA2-PSKのうち暗号化形式に「AES」を使用します。
WPA (TKIP)	WPA-PSKのうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。本製品はWPA-PSKについては「AES」を選択できません。
WPA2 Mixed	無線子機にWPA-PSK (「AES」または「TKIP」)とWPA2-PSK (「AES」または「TKIP」)が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。また、無線子機がすべて「WPA2-PSK (TKIP)」の場合も、こちらを選択します。

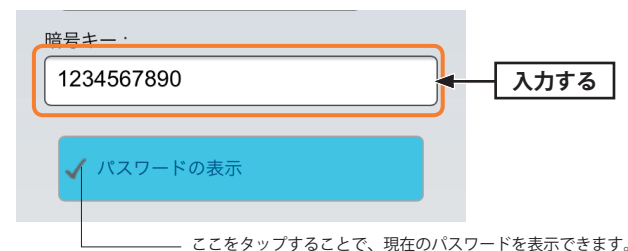
4 [キーの種類]で暗号化キーの入力形式を選択します。



パスフレーズ(8~63 文字)	半角英数字(8~63文字)を使用できます。
Hex (64文字)	16進数64文字(固定)を使用できます。

※ 16進数とは、半角英数字の0~9、a~fを組み合わせた文字列です。

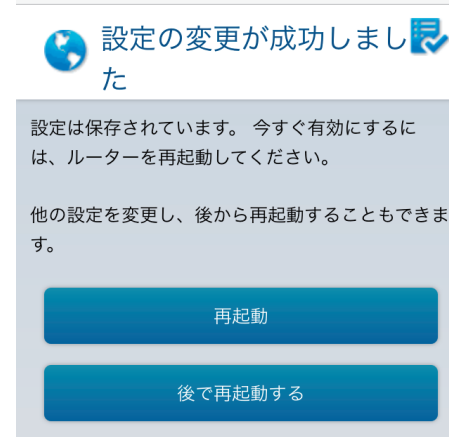
5 [暗号キー]に、手順 4 で選択した入力形式で文字列を入力します。



6 すべての設定が終われば「適用」をクリックします。



7 「設定の変更が成功しました。」と表示されます。



- 他の設定を続ける場合→「後で再起動する」をタップします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合→「再起動」をクリックし、手順 8 へ進みます。

8 待ち時間が表示され、しばらくするとワイヤレスネットワークを選択する画面が表示されますので、任意のSSIDを選択してください。

9 これで本製品のセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線LAN子機側にも設定してください。

- 無線LAN子機側の設定方法は、無線LAN子機のマニュアルをお読みください。

WEP の設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。
ニンテンドーDS LiteなどWEPにしか対応していない機器を接続される場合は、こちらをご使用ください。



注意

本製品および本製品に接続する、すべての無線LAN子機は、無線LANに関する各項目の設定値が同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LAN子機から本製品にアクセスすることはできません。



画面の表示

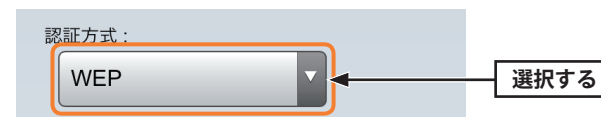
無線設定のメニューリストから[暗号化設定]を選択します。



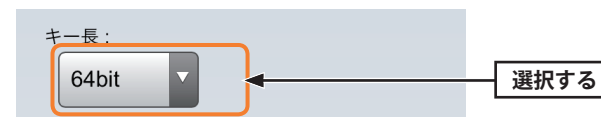
1 [SSIDの選択] で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。



2 [認証方式] で、「WEP」を選択します。



3 [キー長] で、bit数を選択します。通常は128bitを選択します。



MEMO

ご使用になる無線子機が64bitにしか対応していない場合などは、64bitを選択します。ご使用になる無線子機に1台でも64bitにしか対応していないものがある場合は、64bitしか使用できません。なお、64bitはセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

4 [キーフォーマット] で暗号化キーの入力形式を選択します。

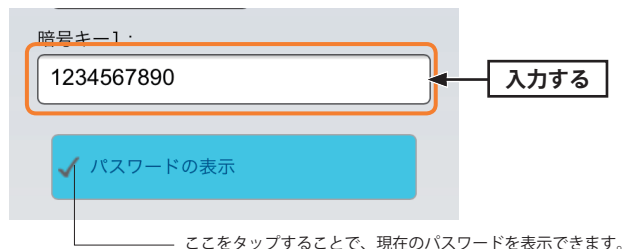


- ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

ASCII (5 文字)	キー長で64bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字5文字を入力します。
ASCII (13 文字)	キー長で128bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字13文字を入力します。
Hex (10 文字)	キー長で64bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、16進数10文字を入力します。
Hex (26 文字)	1キー長で128bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、16進数26文字を入力します。

※ 16進数とは、半角英数字の0～9、a～fを組み合わせた文字列です。

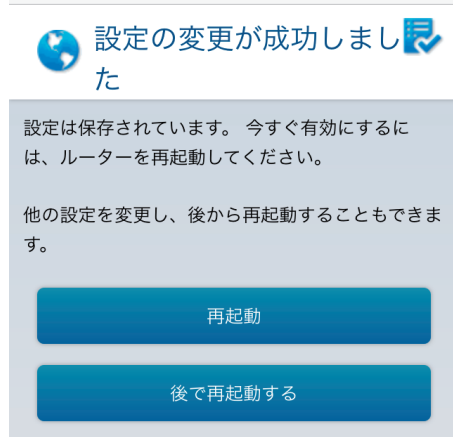
- 5** 手順 **4** で選択した文字入力形式で、[暗号キー]に文字列を入力します。



- 6** すべての設定が終われば、**適用** をクリックします。



- 7** 「設定の変更が成功しました。」と表示されます。



- 他の設定を続ける場合→ **後で再起動する** をタップします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合→ **再起動** をクリックし、手順 **8** へ進みます。

- 8** 待ち時間が表示され、しばらくするとワイヤレスネットワークを選択する画面が表示されますので、任意のSSIDを選択してください。

- 9** これで本製品のセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線LAN子機側にも設定してください。

・無線LAN子機側の設定方法は、無線LAN子機のマニュアルをお読みください。

WPS 設定

WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能の設定をします。^{*}

画面の表示

無線設定のメニューリストから[WPS設定]を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

WPSの無効	WPS 機能を無効にする場合にチェックします。(初期値：有効)
本製品のPINコード	本製品のPINコードを表示します。
PBC方式で接続	実行 をクリックすることで、WPS機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS設定ボタン」を押すのと同じことです。
無線端末のPINコード入力	本製品側で無線LAN子機のPINコードにあわせる場合に、ここに無線LAN子機側のPINコードを入力し、 実行 をクリックします。

^{*}マルチSSIDにて追加したSSIDについてはWPS機能を利用した接続に対応しておりません。

マルチSSID

マルチSSID、ゲストSSIDの設定をします。

画面の表示

無線設定のメニューリストから[マルチSSID]を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

2.4GHz マルチSSID/ 5GHz ※マルチSSID	「マルチSSIDを使用します」をタップすると使用可能になります。
2.4GHz マルチSSID/ 5GHz ※マルチSSID	無線LANで使用するSSIDを入力します。
SSIDステルス機能	「無効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「有効」にした場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値：無効)
2.4GHz ゲストSSID/ 5GHz ※ゲストSSID	「ゲストSSIDを使用します」をタップすると使用可能になります。
2.4GHz ゲストSSID/ 5GHz ※ゲストSSID	無線LANで使用するSSIDを入力します。
SSIDステルス機能	「無効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「有効」にした場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値：無効)

※ 5GHzはWRC-733FEBK-Aの対応です。

無線出力設定

送信ビームフォーミングやひかりTVモード、無線LAN出力の設定をします。

画面の表示

無線設定のメニューリストから[無線出力設定]を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

送信ビームフォーミング	送信ビームフォーミングの有効/無効を設定します。(初期値：有効)
ひかりTVモード	ひかりTVモードの有効/無効を設定します。(初期値：有効)
無線LAN出力	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。(初期値：100%)

4 WAN&LAN 設定

有線の LAN ポートおよび INTERNET ポートに関する設定などをします。

画面の表示

画面左のメニューリストから [WAN&LAN 設定] → [LAN 設定] を選択します。

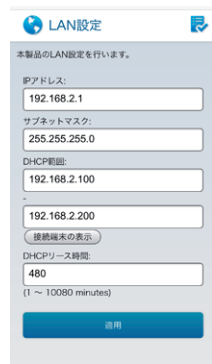


LAN 設定 画面

本製品の LAN (ローカルネットワーク) 側の IP アドレス情報等を設定します。

画面の表示

WAN&LAN 設定のメニューリストから [LAN 設定] を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

● 設定の内容

IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスです。 初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
DHCP 範囲	DHCP サーバーがクライアントに自動的に割り付ける IP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスが自動的に割り当てられます。 [接続端末の表示] をクリックすると、接続中の DHCP クライアントのリストが表示されます。
DHCP リース時間	DHCP サーバーによりクライアントに割り当てられる IP アドレスのリース時間を設定します。1 分～10080 分までの範囲で設定できます。初期値は 480 分です。指定時間を過ぎると DHCP サーバーより IP アドレスを再取得します。

固定 DHCP 設定 画面

クライアントには自動的に IP アドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定の IP アドレスを割り当てたい場合があります。クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連付けて登録することができます。

画面の表示

WAN&LAN 設定のメニューリストから [固定 DHCP 設定] を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

固定DHCPを有効	この項目をチェックしている場合に、固定DHCPリストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていてもIPアドレスは固定されません。
IPアドレス	クライアントに割り当てるIPアドレスを入力します。
MACアドレス	IPアドレスを固定するクライアントのMACアドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。
追加	リストに新たにIPアドレスを固定するクライアントを追加します。

●固定DHCPリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全てを削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

固定DHCPの設定

- 1 [固定DHCPを有効にする]をタップします。
- 2 クライアントに割り当てたいIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- 3 クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 123456789012
- 4 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- 5 [追加]をクリックします。固定DHCPリストにクライアントが追加されます。
- 6 登録するクライアントが複数ある場合は、2～5を繰り返します。

WAN 設定 画面

本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。[WANアクセスタイプ]で、DHCP・PPPoE・PPPoE マルチセッション・固定IPのいずれを選択するかで、設定画面が異なります。

画面の表示

WAN&LAN設定のメニューリストから[WAN設定]を選択します。

●「DHCP」を選択した場合

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ホスト名	ルーターのホスト名を設定することができます。
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1500)
DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する	プロバイダより自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する場合に選択します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。
次のDNSサーバーを使用する	プロバイダからDNSサーバーを使用するように指示があった場合に選択します。DNSが1個の場合は「DNS 1」に、2個の場合は「DNS 1」と「DNS 2」にアドレスを入力します。
DNS 1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。

MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使します。 初期値では、接続中のパソコンのMACアドレスが表示されています。手動で上書きすることもできます。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値：無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：無効)。

●「PPPoE」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。WANアクセス

タイプ: **PPPoE**

ユーザー名:
(最大 57 文字)

パスワード設定:
(最大 57 文字)

パスワードを表示する

MTUサイズ:
1454
(1360-1492 バイト)

UPnPを有効にする

WAN側からのpingに対する応答を有効にする

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **[適用]** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **[戻る]** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123</u> @ <u>elecom.net</u> ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。 [パスワードの表示]をオンにすると、入力したパスワードを表示できます。(初期値：オフ)

MTUサイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1454)
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値：無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：無効)

●「固定IP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。WANアクセス

タイプ: **固定IP**

固定IP:
172.1.1.1

サブネットマスク:
255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ:
0.0.0.0

MTUサイズ:
1500
(1400-1500 バイト)

DNS 1:
(記入例: 192.168.5.44)

DNS 2:

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **[適用]** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **[戻る]** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

固定IP	プロバイダから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTUサイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1500)
DNS 1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリDNSアドレスを入力します。

MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使します。 初期値では、接続中のパソコンのMACアドレスが表示されています。手動で上書きすることもできます。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値：無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：無効)。

DDNS 画面

DDNS (ダイナミック DNS) を利用すると、WAN側が固定IPアドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミックDNSのサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミックDNSはサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

MEMO

あらかじめDDNSサービスに登録しておいてください

DDNSサイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

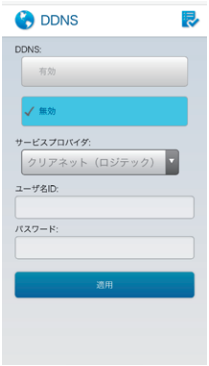
DDNSサービスを利用するにあたって

- DDNSサービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。
- Clear-net (クリアネットサービス) とは、グループ会社ロジテックの対象製品をユーザー登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミックDNSサービスです。クリアネットサービスへの登録については、ロジテックのホームページで詳細をご確認のうえ、ご利用ください。

- DDNSサービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合があります。更新期間などの詳細はご利用になるDDNSサイトをご覧ください。

画面の表示

WAN&LAN設定のメニューリストから[DDNS]を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

DDNS	ダイナミックDNSを利用する場合は「有効」をタップします。
サービスプロバイダ	リストから登録したサービスを選択します。
ドメイン	登録したドメイン名を入力します。
ユーザー名ID	登録したアカウントを入力します。DDNSサービスによってはアカウントがEメールアドレスの場合があります。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

5 LED 省電力機能の設定

「有効」を選択すると、PWR ランプ・INFO ランプ以外のランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[LED 省電力設定]を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

LED 省電力機能	「有効」を選択すると、PWR ランプ・INFO ランプ以外のランプを消灯して消費電力を抑える「省電力モード」になります。(初期値：無効)
-----------	--

6 ファイアウォールの設定

アクセスコントロール 画面

登録した MAC アドレスを持つ無線 LAN 子機または有線クライアントとだけ通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線 LAN 子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

MEMO

AP モードでは、有線接続したクライアントに、アクセスコントロール機能を使用することはできません。

画面の表示

詳細設定のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[アクセスコントロール]を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をクリックし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

アクセスコントロール機能	アクセスコントロール機能の有効/無効を設定します。
MAC アドレス	本製品への接続を許可または拒否するクライアントの MAC アドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●アクセスコントロール

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大50です。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全てを削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

クライアントの登録

- 1 [アクセスコントロール機能]で[有効]を選択します。
- 2 クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890ab
- 3 必要に応じて[コメント]に、クライアントを区別するための名称など、コメントを入力します。
- 4 [追加] をタップします。設定したクライアントが[アクセスコントロール]のリストに表示されます。
- 5 登録するクライアントが複数ある場合は、②～⑤を繰り返します。

ポートフォワーディング画面

ポート転送(ポートフォワーディング)機能を設定します。通常NAT変換を利用するルーターでは、WAN(インターネット)側からLAN上のコンピュータにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたコンピュータをWAN側に開放することができます。



注意

この機能を利用する場合、P129「固定DHCP設定画面」で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバー機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピュータがWAN側に開放される恐れがあります。



詳細設定のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[ポートフォワーディング]を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をタップして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] をタップし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ポートフォワーディング機能	ポートフォワーディング機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)
ローカルIPアドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
タイプ	プロトコルのタイプを選択します。(初期値：両方)
ポート	インターネット側から見た送信先のポート番号を入力します。

コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。
------	---------------------------------------

●ポートフォワーディング設定リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大3です。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

ポートフォワーディングの設定

- 1 [ポートフォワーディング機能]で[有効]を選択します。
- 2 [ローカルIPアドレス]に対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- 3 [タイプ]でプロトコルのタイプを選択します。
- 4 [ポート]に対象となるポート番号を入力します。
- 5 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- 6 [追加] をタップします。登録したクライアントが[ポートフォワーディング設定リスト]に表示されます。
- 7 登録するクライアントが複数ある場合は、2～6を繰り返します。

URLフィルタリング設定 画面

特定のWebサイトのURLを設定することで、ホームページの閲覧を拒否することができます。

画面の表示 詳細設定のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[URLフィルタリング]を選択します。

MEMO 設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず [適用] をタップして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] をタップし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

URLフィルタリング機能	URLフィルタリング機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)
フィルタする文字列	接続を拒否するWebサイトのURLに含まれる文字列を入力します。

●URLフィルタ対象文字列リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録した文字列の情報を削除する場合にチェックします。登録できる文字列の数は最大5です。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックした文字列をリストから消去します。
全てを削除	リストの文字列の設定をすべて消去します。

URLフィルタリングの設定



- 1 [URLフィルタリング機能]で[有効]を選択します。
- 2 [フィルタする文字列]に対象となるWebサイトのURLに含まれる文字列を入力します。
- 3 [追加]をタップします。登録した文字列が[URLフィルタ対象文字列リスト]に表示されます。
- 4 [適用]をタップします。
- 5 登録する文字列が複数ある場合は、2～4を繰り返します。

DMZ設定画面

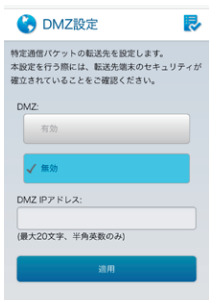
通常、NAT変換を利用するルーターでは、WAN（インターネット）側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。DMZ機能を使用すると、指定した端末にWAN側からアクセスできるようになります。これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。



設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。

画面の表示

詳細設定のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[DMZ]を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず[適用]をタップして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は[戻る]をタップし画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

DMZ機能	DMZ機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)
DMZ IP アドレス	インターネット(外部)に公開するWAN側IPアドレスを入力します。 「.」で区切る必要があります。 例 192.168.2.131

QoS 画面

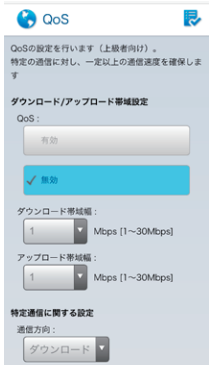
QoS (Quality of Service) は特定の通信について、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するときに有効です。



設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。



画面左のメニューリストから [QoS 設定] を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をタップして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** をタップし画面のメッセージに従ってください。

●QoS機能

QoS機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)

●ダウンロード/アップロード帯域設定

ダウンロード帯域幅	ダウンロードで確保する全体の帯域幅を選択します。(初期値：1Mbps)
アップロード帯域幅	アップロード確保する全体の帯域幅を選択します。(初期値：1Mbps)

●特定通信に関する設定

通信方向	通信方向を選択します。ダウンロード、アップロード、または両方のいずれかを選択できます。(初期値：ダウンロード)
上限/下限	最大帯域(上限)か最低帯域保証(下限)かの設定をします。(初期値：下限)
帯域幅	通信で確保する帯域幅を入力します。(初期値：1Mbps)
ローカルIPアドレス	この帯域を適用するクライアントのIPアドレスを入力します。
ポート範囲	この帯域を適用するクライアントのローカルポート範囲を入力します。対象が1台の場合は左側だけに入力します。
プロトコル	使用するプロトコルをリストから選択します。(初期値：TCP)

7 システム設定

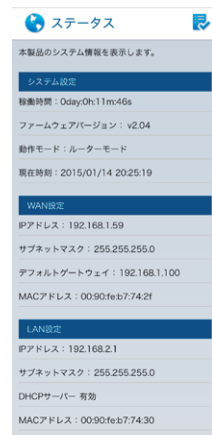
システム設定メニューでは、機器のステータス表示、設定の保存、設定の初期化（工場出荷時の状態に戻す）、パスワード設定、ファームウェアのアップデートなどができます。ファームウェアの更新については、P147「ファームウェア更新 画面」をお読みください。

ステータス 画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面の表示

詳細設定のメニューリストから[システム設定]→[ステータス]を選択します。



●システム

稼働時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
動作モード	現在選択中の動作モードを表示します。
現在時刻	本製品に内蔵された時計の現在の時刻を表示します。

●WAN 設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

●LAN 設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCPサーバー	DHCP機能の状態を表示します。「有効」と表示されている場合、DHCPサーバー機能が有効になっています。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。



●無線設定

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の数です。

●マルチSSID

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の数です。

●ゲストSSID (こどもネットSSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の数です。

ファームウェア更新 画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアをアップデートすることで、本製品を最新の状態にすることができますので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。ファームウェアのアップデートの方法は2種類あります。ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

自動更新	弊社Webサイト上に最新のファームウェアがあると、検知から24時間後または設定した時刻に、自動的にアップデートします。
手動更新	オンラインまたはダウンロードしたbinファイルを使って、設定ユーティリティの「手動更新(アップデート)」機能による更新ができます。



- ファームウェアのアップデートはパソコンやスマートフォン、タブレットなどからおこなうことができます。手動でダウンロードしたファイルを選択してのアップデートは、パソコンでのみおこなえます。
- アップデートするファームウェアは、必ず本製品のものを使用してください。本製品以外のファームウェアを使ってアップデートすると、本製品が故障する恐れがあります。

手動でファームウェアを更新する

自動更新機能を使わずに手動でファームウェアを更新することもできます。ファームウェアをダウンロードせずにオンラインで更新する方法と、ファームウェアをダウンロードして更新する方法があります。

●オンラインでの更新

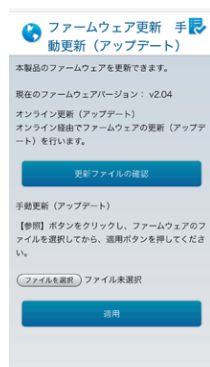
エレコム・ホームページ上にあるファームをダウンロードすることなく、オンラインで更新することができます。ファームウェアをダウンロードする必要がなく簡単に更新できます。



- 通信環境が悪い場合は、ファームウェアをダウンロードしてから、「手動更新(アップデート)」で更新することをお勧めします。



画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[手動更新(アップデート)]を選択します。



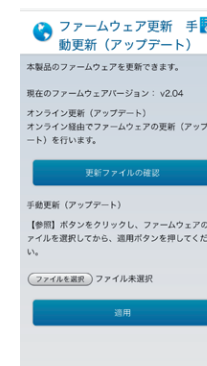
- 1 [オンライン更新(アップデート)]で「更新ファイル確認」をタップします。
- 2 最新のファームウェアがあるかメッセージが表示されます。最新ファームウェアがある場合は、「更新する」をタップします。
 - ・すでに最新の場合は、「戻る」をタップします。
- 3 案内メッセージが表示されます。「OK」をタップします。
- 4 更新作業が始まります。更新が完了するまで、本製品の電源をオフにしないでください。
- 5 正常にアップデートが完了すると、設定ユーティリティへのログイン画面が表示されます。
- 6 「FWのアップデートが完了しました！！」と表示されます。Web ブラウザ画面を閉じます。

●ダウンロードしたファームウェアを使った更新

ダウンロードしたファームウェアを、「手動更新(アップデート)」機能を使って更新します。



画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[手動更新(アップデート)]を選択します。



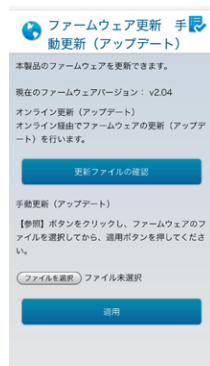
- 1 パソコンと本製品を有線 LAN で接続します。
 - ・パソコンは IP アドレスを自動取得できるように設定しておいてください。
- 2 インターネットに接続します。
- 3 エレコム Web サイト「<http://www.elecom.co.jp/>」に接続します。
- 4 [ダウンロード]をタップします。
- 5 [型番で検索]で型番を入力し、「検索」をタップします。
- 6 本製品向けにダウンロード可能な内容が表示されますので、ファームウェアを選びます。
- 7 説明に従ってダウンロードします。
 - ・ダウンロード前に注意事項などがないかダウンロードページでご確認ください。
 - ・ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。
- 8 このあと「Windowsでのアップデート手順」または「Macでのアップデート手順」をお読みください。

■ Windows でのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- 1 ダウンロードした圧縮ファイルのアイコン(電子レンジ型)*をダブルクリックします。
- 2 メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
- 3 く ファームウェア更新 手動更新 (アップデート)画面で、**ファイルを選択** をタップします。



- 4 く アップロードするファイルの選択画面が表示されますので、解凍したファイルを指定し、**開く** をクリックします。
- 5 **適用** をクリックします。
- 6 「設定を反映しています。」と表示され、アップデートが開始します。
 - ・ アップデートが完了するまで、絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 7 アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
 - ・ 新しいファームウェアで動作するようになります。

※インストールされているアプリによりアイコンが変わる場合があります。

MEMO

エラー画面が表示された場合

本製品の電源ケーブル(AC アダプター)を抜き差しして電源を入れ直してください。

■ Mac でのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- 1 ダウンロードした圧縮ファイル(ZIP 形式)を解凍します。
 - ・ メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
 - ・ ご使用の環境によっては、解凍作業が不要な場合があります。
- 2 このあとは、「Windows でのアップデート手順」の手順③～⑦を実行します。

ファームウェアの自動更新を有効にする

本製品にはファームウェアを自動的に更新できる「ファームウェアの自動更新機能」があります。エレコム・ホームページ上に最新のファームウェアがある場合、検知から24 時間後または設定した時刻に、本製品は自動的にファームウェアをアップデートするようになっています。これにより、常に最新の状態で本製品をご使用いただけるようになります。



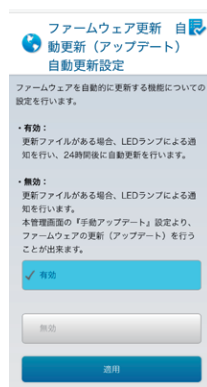
アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

MEMO

- ・ 自動アップデートは、本製品の電源が入った状態で、インターネットに接続できる必要があります。
- ・ インターネットをご使用中は、更新作業は始まりません。

画面の表示

詳細設定のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新設定]を選択します。



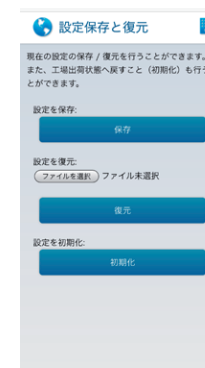
- 1 詳細設定のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新設定]を選択します。
- 2 [有効]を選択し、[適用]をタップします。
 - ・ 以上で設定は完了です。

設定保存と読込画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

画面の表示

詳細設定のメニューリストから[システム設定]→[設定保存と読込]を選択します。



設定の保存方法

設定を保存:

保存

- 1 [保存]をクリックします。
- 2 <ファイルのダウンロード>画面が表示されますので、[保存]をクリックします。
- 3 <名前を付けて保存>画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、[保存]をタップします。指定した場所に「config.dat」ファイルが保存されます。
- 4 <ダウンロードの完了>画面が表示されますので、[閉じる]をクリックします。<設定保存と復元>画面に戻ります。



注意

設定の保存はスマホ・タブレットからはおこなえません。
パソコンより設定ください。

設定の読み込み方法



- 1 [設定を復元]の「ファイルを選択」をクリックします。
- 2 <アップロードするファイルの選択>画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
- 3 「復元」をクリックします。
- 4 「設定の読み込みに成功しました。」と表示されます。「戻る」をクリックします。



設定の読み込みはスマホ・タブレットからはおこなえません。
パソコンより設定ください。

設定を初期化する(工場出荷時の状態に戻す)



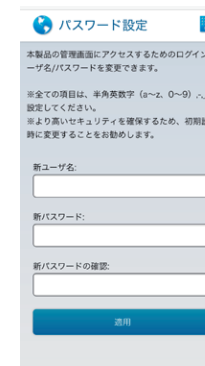
- 1 [設定を初期化]の「初期化」をタップします。
- 2 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので「OK」をタップします。
- 3 しばらくすると「初期化に成功しました。」と表示されます。

パスワード設定 画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定/変更します。



詳細設定のメニューリストから[システム設定]→[パスワード設定]を選択します。



設定の手順

- 1 [新ユーザー名]に、新しく設定するユーザー名を入力します。
- 2 [新パスワード]に、現在使用しているパスワードを入力します。
- 3 [新パスワードの確認]に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- 4 「適用」をタップします。認証画面が表示されます。
- 5 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をタップします。

Appendix

付録編

1 子機モード(コンバーターモード)を使う

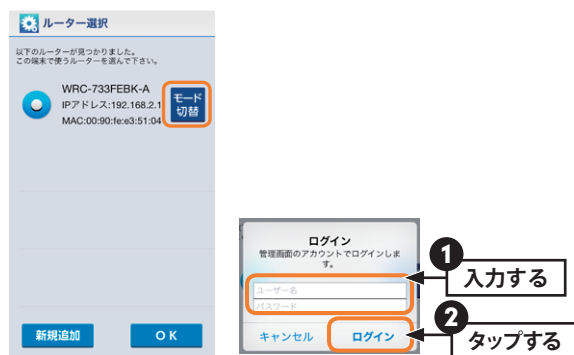
本製品を子機モード(コンバーターモード)に変更することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができます。ネットワーク対応TVなどと子機モードの本製品を組み合わせることで、別途用意された無線親機と無線LANで接続することができます。

子機モードに変更する

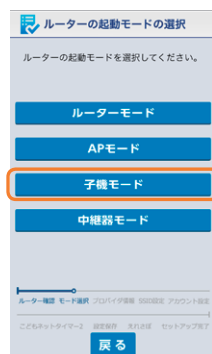
本製品の設定をするために、初めに本製品をルーターモードで接続してください。詳細は「Chapter 2 接続編」をご覧ください。

※子機モードに変更する場合は、WANポートからケーブルを外してから設定をしてください。

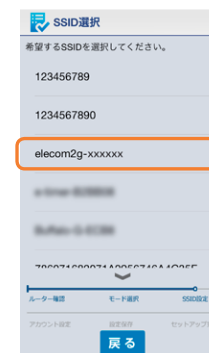
- 1 SkyLink Managerを開きルーター選択画面で、設定を変更したいルーターの「モード切替」をタップします。ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をタップします。



- 2 ルーターの起動モードの選択画面で、「子機モード」をタップします。



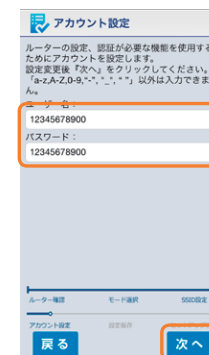
- 3 SSID選択画面で、接続したい親機のSSIDをタップします。



- 4 LANのSSIDの設定を行います。親機のパスワードを入力し、「次へ」をタップします。



- 6 管理者アカウントの設定を行います。ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。



7 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。



8 ルーターに接続が完了し、本製品の再起動が開始されます。



9 ルーターへの設定の保存が完了しましたら、セットアップ完了です。

MEMO

子機モードからルーター/APモードに戻すには…

本体裏面にあるResetボタンを押して初期化してください。
詳しくは、「P18 5.各部の名称とはたらき」をご覧ください。

有線ネットワーク機器と接続する

使用する有線ネットワーク機器は、あらかじめ有線LAN接続でインターネットやローカルネットワークに接続できていることを確認しておいてください。

1 本製品の背面にあるDC IN から電源プラグを抜いて電源を切ります。

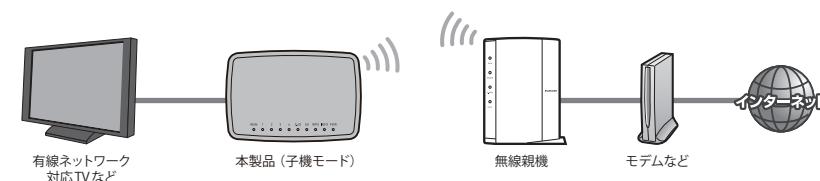
2 有線ネットワーク機器のLANポートと本製品背面にあるLANポートのいずれかをLANケーブルで接続します。



- LANポートは4ポートあります。いずれのポートに接続してもかまいません。
- 4台までの有線ネットワーク機器を接続することができます。ただし、同時に使用すると、通信速度が低下することがあります。
- 「INTERNETポート」は使用できません。

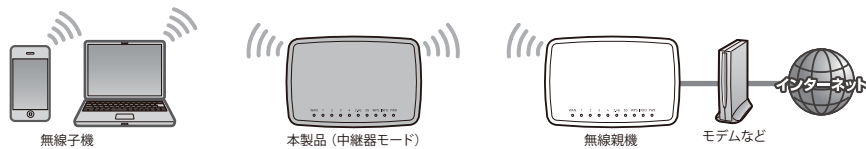
3 本製品の背面のDC IN に電源プラグを差し込み、電源を入れます。

4 有線ネットワーク機器からインターネットやネットワークに接続できることを確認します。接続できれば作業はすべて完了です。



2 中継器モード(リピーターモード)を使う

本製品を中継器モード(リピーターモード)に変更することで、電波の届きにくい場所でも電波を中継して、通信範囲をより広くすることができます。また、有線LAN環境がない場所に本製品を設置することで、無線親機との距離があっても電波を中継し、クライアント端末と無線接続できるようにします。



注意

2.4GHzと5GHzの同時使用はできなくなります。接続先の無線親機と本製品との間で使用している周波数帯でのみアクセスできます。

中継器モードに変更する

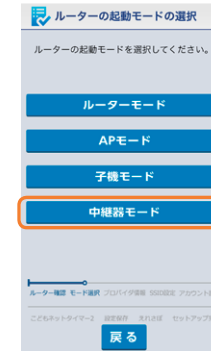
本製品の設定をするために、初めに本製品をルーターモードで接続してください。詳細は「Chapter 2 接続編」をご覧ください。

※中継器モードに変更する場合は、WANポートからケーブルを外してから設定をしてください。

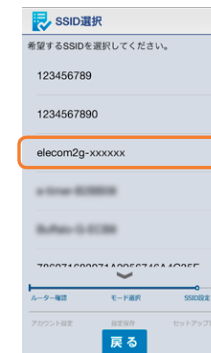
- 1 SkyLink Managerを開きルーター選択画面で、設定を変更したいルーターの「モード切替」をタップします。ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をタップします。



- 2 ルーターの起動モードの選択画面で、「中継器モード」をタップします。



- 3 SSID選択画面で、接続したい親機のSSIDをタップします。



- 4 LANのSSIDの設定を行います。親機のパスワードを入力し、「次へ」をタップします。



- 6** 管理者アカウントの設定を行います。
ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。

アカウント設定

ルーターの設定、管理が必要な機能を使用するためにアカウントを設定します。
設定変更後「次へ」をクリックしてください。
「a-zA-Z0-9-._,~!@%&*^"'''」以外は入力できません。

ユーザー名
12345678900

パスワード
12345678900

戻る 次へ

- 7** 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。

確認画面

登録する内容をご確認ください。よろしければ「次へ」をクリックしてください。

起動モード
中継器モード

プロバイダー情報
回線の種類: DHCP

IPアドレス: 192.168.1.77

デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.100

サブネットマスク: 255.255.255.0

戻る 次へ

- 8** ルーターに接続が完了し、本製品の再起動が開始されます。

ルーター設定保存

ルーターに接続完了しました。

戻る

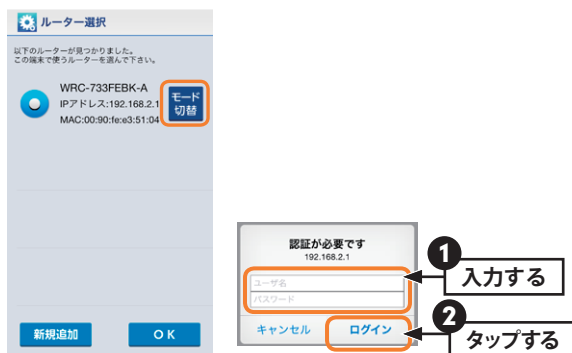
- 9** ルーターへの設定の保存が完了しましたら、セットアップ完了です。

MEMO 中継器モードからルーター/APモードに戻すには…
本体裏面にあるResetボタンを押して初期化してください。
詳しくは、「P18 5.各部の名称とはたらき」をご覧ください。

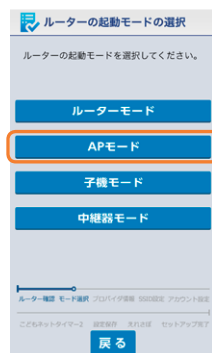
3 APモード(アクセスポイントモード)を使う

本製品のルーター機能を無効にして、アクセスポイント機能だけを有効にします。
無線機能の無いルーターに接続することにより、無線での接続を可能にします。

- 1 SkyLink Managerを開きルーター選択画面で、設定を変更したいルーターの「モード切替」をタップします。ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、**ログイン**をタップします。



- 2 ルーターの起動モードの選択画面で、「APモード」をタップします。



- 3 メインのSSIDの設定を行います。
SSID名、パスワードを記入して「次へ」をタップします。



- 4 ゲストのSSIDの設定を行います。
SSID名、パスワードを記入して「次へ」をタップします。



- 5** 管理者アカウントの設定を行います。
ユーザー名、パスワードを記入し、「次へ」をタップします。

アカウント設定

ルーターの設定、管理に必要な機能を使用するためにアカウントを設定します。
設定変更後「次へ」をクリックしてください。
「a-z,A-Z,0-9,-,_,.,」以外は入力できません。

ユーザー名
qwertyuiop

パスワード
qwertyuiop

ルーター設定 モード選択 プロバイダ選択 5G設定 アカウント設定

子どもネットタイマー2 設定済み 完了済み

戻る 次へ

- 6** 子どもネットタイマー2のWEBサイトフィルターを使う場合は
ライセンスキーを入力してください。入力後、「次へ」をタップします。

子どもネットタイマー2

子どもネットタイマー2にはWEBサイトフィルター機能が含まれております。
WEBサイトフィルター機能を使うにはライセンスキーの登録が必要です。
設定変更後「次へ」をクリックしてください。
「a-z,A-Z,0-9,-,_,.,」以外は入力できません。

WEBサイトフィルター機能の有効にする
☐

WEBサイトフィルターライセンスキー

ルーター設定 モード選択 プロバイダ選択 5G設定 アカウント設定

子どもネットタイマー2 設定済み 完了済み

戻る 次へ

- 7** 登録内容を確認します。問題がなければ「次へ」をタップします。

確認画面

登録する内容をご確認ください。よろしければ「次へ」をクリックしてください。

プロバイダー情報

回線の種類: DHCP

IPアドレス: 192.168.1.77

デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.100

サブネットマスク: 255.255.255.0

DNS1: 61.122.112.97

DNS2(オプション):

ルーター設定 モード選択 プロバイダ選択 5G設定 アカウント設定

子どもネットタイマー2 設定済み 完了済み

戻る 次へ

- 8** ルーターに接続が完了し、本製品の再起動が開始されます。



- 9** ルーターへの設定の保存が完了しましたら、セットアップ完了です。

4 こんなときは

MEMO

付属の印刷物「製品情報」の「FAQ (困ったときは)」もご参照ください。

無線LAN関係のトラブル

●無線LANが繋がらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？ プロトコル (TCP/IP など)、クライアント (Microsoft Network クライアント など)、サービス (Microsoft Network 共有サービス など) を環境に応じて設定する必要があります。

②ルーターなどのDHCPサーバー機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか？ セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANが繋がらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSが繋がらない。

①WPSランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやり直してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

②DHCPサーバー機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り当ててください。TCP/IPのプロパティにある〈IPアドレス〉タブで設定します。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダーから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

- ①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンターの共有ができない。

- ① ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンターの共有はできません。

5 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようなになっているかを確認する方法を説明します。

ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線LAN子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

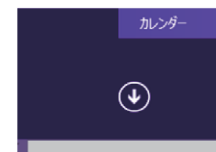
パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 8.1/8 の場合

- ① ご使用のOSのバージョンにあわせて操作します。

■ Windows 8.1 の場合

スタート画面の左下にある下矢印をクリックします。



■ Windows 8 の場合

- ①スタート画面で画面の背景部分を右クリックします。
タッチパネルの場合は、画面下から内側へスワイプさせます。
②画面下に現れた「すべてのアプリ」をクリックします。



- ② アプリの一覧から[コマンドプロンプト]をクリックします。



- ③ <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.
```

```
C:\Users¥Master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ④ 「イーサネット アダプター イーサネット*」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxx は任意の数字)。

```
イーサネット アダプター イーサネット:
```

```
接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
IPv6 アドレス . . . . .:0000:a000:00e0:0:200c:af00:0000:0000
一時 IPv6 アドレス . . . . .:0000:a000:00e0:0:200c:af00:aa0:0000
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .:fe00::2000:af00:900d:0000%12
IPv4 アドレス . . . . .:192.168.2.101
サブネット マスク . . . . .:255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . .:fe00::200:a2f0:fe0d:ab0e%12
192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ⑤ 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P176「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

Windows 7/Vistaの場合 ※画面はWindows Vistaの例です。

- ① [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。

- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.
```

```
C:\Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプター ローカル エリア接続*」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxx は任意の数字)。

```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:
```

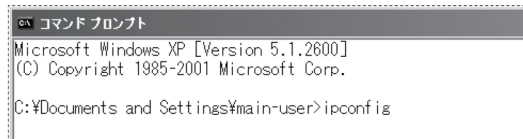
```
接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .: fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . .: 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . .: 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . .: 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P176「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

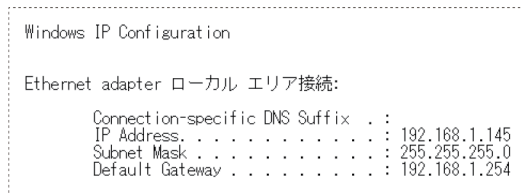
Windows XP/2000の場合

- ① [スタート]→[(すべての) プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- ② くコマンドプロンプト画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプター ローカル エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxxは任意の数字)。



※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態 (初期値) で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P176「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

工場出荷時での表示結果

本製品から正常にIPアドレスが割り当てられていると、各パソコンのIPアドレスは「192.168.2.xxx」と表示されます。「xxx」は任意の数字 (初期値: 100~200のいずれか) です。またサブネットマスクが「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイが「192.168.2.1」と表記されていれば、本製品と正常に接続されています。

6 基本仕様

無線 LAN 部

規格	無線	IEEE802.11ac [※] (5GHz 帯) / IEEE802.11n (2.4/5GHz [※] 帯) / IEEE802.11a [※] (5GHz 帯) / IEEE802.11g (2.4GHz 帯) / IEEE802.11b (2.4GHz 帯)
	有線	IEEE802.3u (100BASE-T) / IEEE802.3 (10BASE-T)
周波数帯域		5GHz [※] 帯: 5,150~5,250MHz (W52: 5.2GHz)、5,250~5,350MHz (W53: 5.3GHz)、5,470~5,725MHz (W56: 5.6GHz)、 2.4GHz 帯: 2,400~2,484MHz
チャンネル		5GHz [※] 帯: [W52] 36、40、44、48ch、[W53] 52、56、60、64ch、[W56] 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch 2.4GHz 帯: Auto/1~13ch
伝送方式		11ac [※] / 11a [※] / 11n / 11g: OFDM 方式、 11b: DS-SS 方式
データ転送速度 (無線)		11ac: 最大 433Mbps [※] 、 11n: 最大 300Mbps (2.4GHz 帯) / 最大 150Mbps [※] (5GHz 帯)、 11a: 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [※] 、 11g: 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、 11b: 11/5.5/2/1Mbps
データ転送速度 (有線)		10/100Mbps (自動判別)
アクセス方式		インフラストラクチャ (親機)
アンテナ方式	WRC-733FEBK-A	5GHz 帯: 送受信 × 1 本、 2.4GHz 帯: 送受信 × 2 本
	WRC-733FEBK-A	2.4GHz 帯: 送信 2 本 / 受信 2 本
セキュリティ		WPA2-PSK (AES)、SSID (ステルス設定可)、 MAC アドレスフィルタリング
設定方式		SkyLink Manager

※ 5GHz 帯は WRC-733FEBK-A の対応です。

WAN/有線 LAN 部

規格	IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T) / IEEE802.3x
コネクター	WAN: RJ-45 × 1 ポート、LAN: RJ-45 × 4 ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルーター、その他一般仕様

ルーティング対応プロトコル		TCP/IP
インターネット (WAN) 接続方式		PPPoE 認証接続 (2 セッション)、IP アドレス自動取得接続、 IP アドレス固定接続
LAN 接続方式設定		DHCP サーバー (有効 / 無効)、固定 IP アドレス (手動設定)
セキュリティ		MAC アドレスフィルタリング (許可 / 拒否)、 IP アドレスフィルタリング (許可 / 拒否)
ローカルサーバー機能		ポートフォワーディング、仮想 DMZ
ダイナミック DNS (DDNS)		クリアネット (ロジテック無料提供サービス)、DynDNS 等
消費電力 (定格)	WRC-733FEBK-A	4.9W
	WRC-300FEBK-A	2.9W
外形寸法		幅 107 × 奥行 72 × 高さ 25mm
質量		約 86g (AC アダプターは含まず)

